



令和5年度（2023年度）

第7回定例庁議

令和5年6月27日(火)午前8時30分～
第一応接室（担当：総合戦略室 内線1111）

1 報告事項

- (1) 生成AIの利用について……………（総合戦略局）
- (2) 令和5年度9月補正予算の編成について……………（財政部）

<決算概要報告(3)～(6)>

- (3) 令和4年度松本市歳入歳出決算について……………（財政部）
- (4) 令和4年度上高地観光施設事業会計決算について……………（総合戦略局）
- (5) 令和4年度松本市水道事業会計及び下水道事業会計の決算について……………（上下水道局）
- (6) 令和4年度松本市病院事業会計の決算について……………（病院局）
- (7) 健康づくりとスポーツ振興に関する連携協定について……………（健康福祉部・文化観光部）
- (8) 松本市アルプス公園魅力向上検討会議からの提言について……………（建設部）
- (9) 令和4年度市長への手紙の結果について……………（住民自治局）
- (10) 包括外部監査の実施について……………（総務部）
- (11) 令和5年度補助内示等の状況について……………（財政部）
- (12) 令和4年度市税収納状況について……………（財政部・健康福祉部）

庁議日程について

| | | |
|---------|----------|--------|
| 第8回定例庁議 | 7月19日(水) | 8時30分～ |
| 第9回定例庁議 | 8月8日(火) | 8時30分～ |

(報告事項)

生成AIの利用について

1 趣旨

ChatGPTをはじめとする生成AIの利用方針について、報告するものです。

2 経過

4.11 OpenAI社がChatGPTを公開

5.3.3 情報漏洩の懸念があるためイタリアでChatGPT利用一時禁止
(4月28日には使用禁止処置解除)

5.8 国のデジタル社会推進会議幹事会で生成AI利用に関し申合せ

11 国が生成AIの利用について、AI戦略会議で検討開始

6.5 庁議においてデモンストレーションを行い、利用について意見交換

3 生成AIとは

既存のデータから新しい情報を自動的に生成することができる人工知能のことです。

生成AIを利用して、自動応答システムによるカスタマーサポートの改善、自動要約技術による省力化、自動生成されたデザインによる広告制作、自動生成された文章によるニュース配信など、様々な分野で活用が考えられています。

4 利用方針（詳細は、別紙ガイドラインのとおり）

(1) 基本姿勢

生成AIは、情報の集約、文章の校正、資料の作成などにおいて日常の業務の効率化につながる可能性が高いデジタル技術・サービスです。AIの活用により、職員の時間や余力を生み出し市民と向き合う仕事ができるよう、適切な利用方法のもと、生成AIの利用を進めます。

(2) 注意すべき事項

ア 直ちに一般に公表することを前提としていない情報は入力しないこと

イ チャットの履歴を残さない設定を施すこと。

ウ 生成結果のチェック、権利侵害の確認を必ず行うこと。

エ 生成AIを利用し文書等を作成した際は、その旨を明記すること。

オ サービス利用規約を適宜確認すること。

(3) その他

本市が導入している会議支援ツール「ログミーツ」に、ChatGPTの技術が付加されました。議事録の要約やAIへの質問等が可能です。

5 今後の対応

- (1) 国の検討に応じて適宜ガイドラインを見直していきます。
- (2) 適切な生成A I利用に向けて、研修など職員への啓発を実施します。
- (3) アンケートを実施して、職員の利用状況等を調査します。
- (4) 生成A Iの活用方法等について、DX推進本部で継続して研究していきます。

| | |
|----|------------|
| 担当 | DX推進本部 |
| 次長 | 赤澤 直徳 |
| | (内線 54210) |

ChatGPT等の生成AIの利用にあたってのガイドライン

1 基本姿勢

生成AIは、情報の集約、文章の校正、資料の作成などにおいて日常の業務の効率化につながる可能性が高いデジタル技術・サービスです。AIの活用により、職員の時間や余力を生み出し市民と向き合う仕事ができるよう、適切な利用方法のもと、生成AIの利用を進めます。

2 データの入力に際し注意すべき事項

- (1) 直ちに一般に公表することを前提としていない情報は入力しない。
- (2) チャットの履歴を残さない設定を施す。

3 生成結果の利用に際し注意すべき事項

- (1) 差別用語や倫理に反する表現が含まれていないか確認する。
- (2) 著作権を侵害していないか確認する。
- (3) 生成結果のチェックを行い、誤った情報の利用や発信を防ぐ。
- (4) 生成AIを利用し作成した場合は、「生成AIにより作成」と明記する。

4 安全な運用体制の構築

- (1) サービス利用規約を適宜確認する。
- (2) 適切な利用に向け、一人ひとりの職員が自ら情報リテラシーの向上に取り組む。
- (3) 問題が発生した場合は直ちに所属長に報告する。
- (4) 所属長等は適正な利用となるよう指導・監督に努める。

(報告事項)

令和5年度9月補正予算の編成について

令和5年度9月補正予算の編成について報告するものです。

記

1 予算編成方針

令和5年度予算は、通年ベースでの予算編成済であることから、9月補正予算については、次の経費に限って補正予算を編成することとします。

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について、総合戦略局と協議が整っている経費
- (2) 第11次基本計画に掲げ、本年度中に事業化が必要な政策的経費
- (3) 国、県補助事業の内示及び決定に伴う経費で、補正措置を講じなければ事業執行上、支障をきたす経費、及び執行が困難となった経費
- (4) 300万円以上の契約差金の減額
- (5) 上記以外で、あらかじめ財政部と協議が整っている経費

2 留意事項

(1) 政策的経費について

ア 総合戦略会議において指示のあった事業については、事業内容を精査し、今年度中に対応が可能なものは、速やかに事業化を図ってください。

イ 上記ア以外の政策的経費は、総合戦略室と協議が整っている事業以外は、原則として予算の補正は行いません。

(2) 国、県補助事業について

ア 内示額が予算額を下回っている事業については、原則、内示額の範囲内での事業執行とします。

イ 事業の執行に影響が出る場合には、追加要望や他の補助金の取込みの検討など、補助金の確保に向け、適切に対応してください。

ウ 補助内示の減に伴う減額補正（他の財源確保の見込みがないもの）についても、9月補正予算で整理します。

エ なお、予定された補助内示が無い場合においては事業を先送りして下さい。

(3) 経常的経費について

ア 経常的経費については、当初予算編成時に通年を見通した所要額を計上しているため、年度中途での予算の補正は行いません。

イ 予算の不足が見込まれる場合は、部内の既定経費の組替えや予算流用等により対応してください。

(4) その他

ア 国・県の動向に留意し、財源確保に積極的に取り組んでください。

イ 他の事業の財源とするため、300万円以上の契約差金については、必ず今回、減額補正を要求してください。

ウ 公共事業の執行については、各部の自主管理による適切な執行管理により、事業全般にわたり「早期着手」「早期完成」「早期支払い」に努めてください。

エ 事業の遅れ等による繰越は原則認めませんので、各部において進行管理を徹底し、年度内に完了できるよう努めてください。

3 予算編成日程等

(1) 見積書の提出期限 7月4日(火) 17時 期日厳守

(2) 見積書の提出部数 4部

(3) 査定（折衝）日程予定

- ・ 課長折衝 7月 5日（水）～7月13日（木）
- ・ 部長折衝 7月18日（火）～7月24日（月）
- ・ 市長（二役）査定 8月 2日（水）～8月10日（木）

※ 概ね上記の日程により行う予定ですが、詳細については別途通知します。

| |
|----------------------------------|
| 担当：財 政 課 課長 池上 浩平 (内線1340) |
|----------------------------------|

(報告事項)

令和4年度松本市歳入歳出決算について

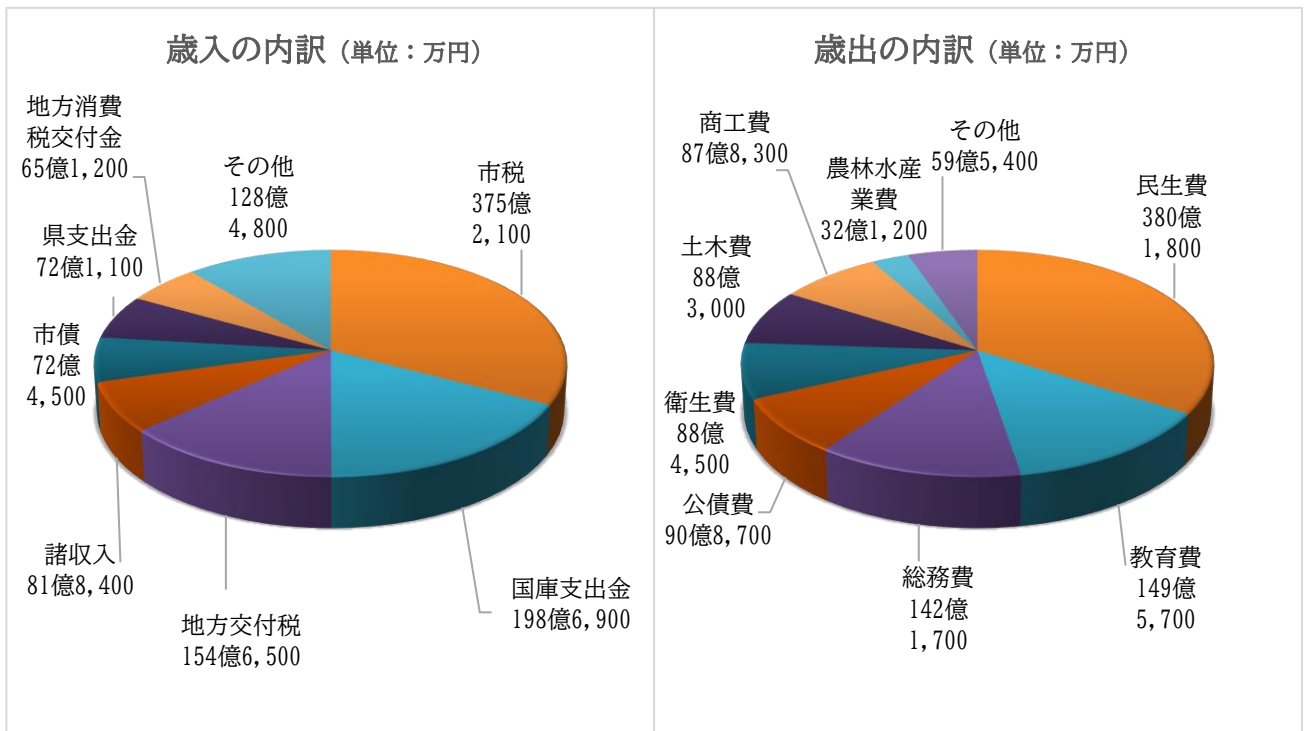
1 趣旨

令和4年度の歳入歳出決算の概要について報告するものです。

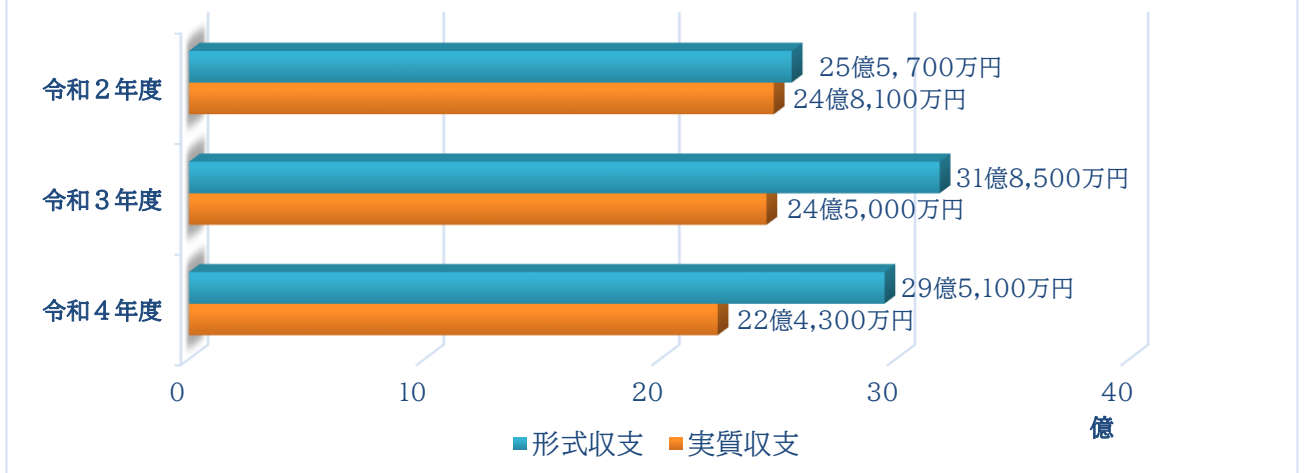
2 一般会計の決算

(1) 一般会計の決算額

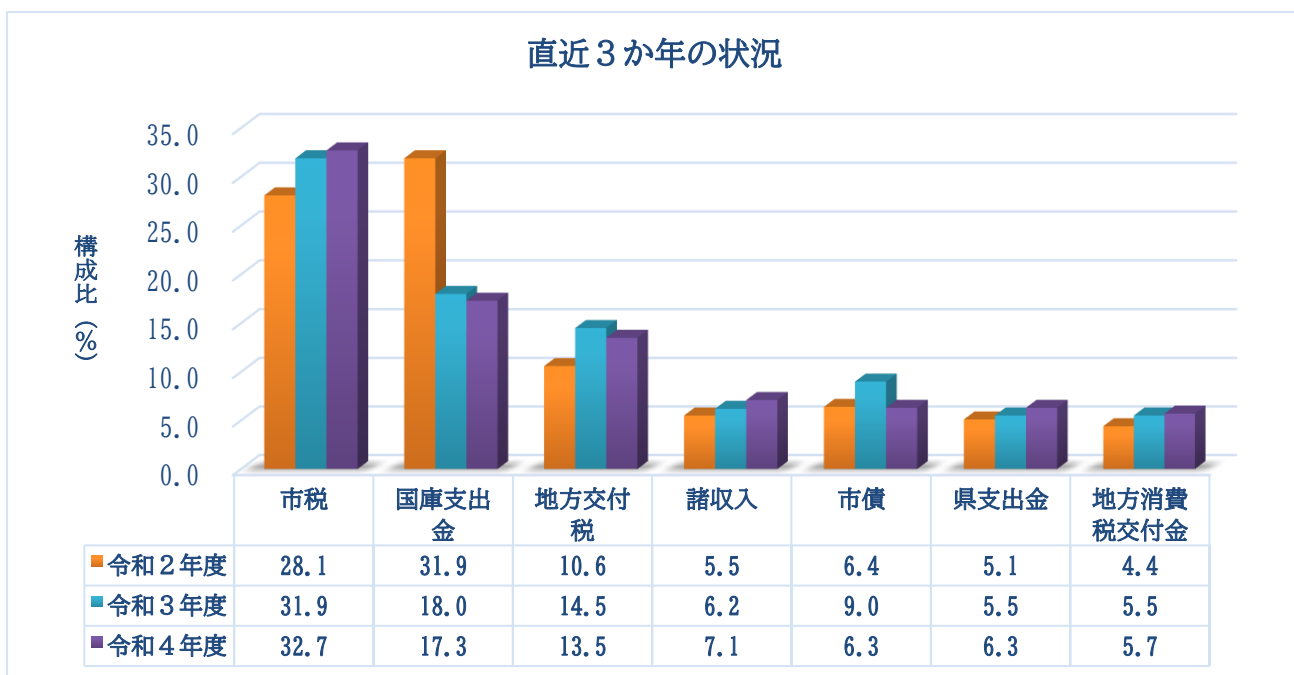
| | | | | |
|------|----------------|-------|---------------|---------|
| 歳入総額 | 1,148億 5,500万円 | (前年度比 | + 10億 5,800万円 | + 0.9%) |
| 歳出総額 | 1,119億 300万円 | (前年度比 | + 12億 9,200万円 | + 1.2%) |
| 形式収支 | 29億 5,100万円 | (前年度比 | △ 2億 3,300万円 | △ 7.3%) |
| 実質収支 | 22億 4,300万円 | (前年度比 | △ 2億 600万円 | △ 8.4%) |



一般会計の形式収支・実質収支の状況



(2) 歳入の款別構成比



(3) 市税 375億2,100万円

歳入全体の32.7% (前年度比 + 12億2,100万円 + 3.4%)

(主な内容)

| 区 分 | | 主な増減内容 | |
|-------|--|--|--------|
| 個人市民税 | 141億2,000万円 (前年度比 + 1億8,900万円 + 1.4%) | 給与所得の増 | |
| 法人市民税 | 33億8,900万円 (前年度比 + 4,800万円 + 1.5%) | 景気変動等 金融・保険業 + 6,400万円 (うち日銀 + 1億300万円) 卸売・小売業 + 5,800万円 情報通信業・飲食店・宿泊業・サービス業・ 医療・福祉 + 5,000万円 建設業 △ 2,600万円 電気・ガス・熱供給・水道業 △ 9,800万円 | |
| 固定資産税 | 156億4,100万円 (前年度比 + 7億4,500万円 + 5.0%) | 令和3年度限定の土地税額据置措置終了に よる増 + 3,300万円 新增築家屋の増等 + 1億5,600万円 設備投資等 + 1億6,500万円 コロナ特例減収分(R3) + 5億200万円 納税猶予等 △ 1億2,400万円 | |
| 市税収納率 | 現年分 99.49% (前年度 99.45% + 0.04ポイント) | | |
| | 滞繰分 36.52% (前年度 46.65% △10.13ポイント) | | |
| | 合計 98.67% (前年度 98.36% + 0.31ポイント) | | |
| | | R2 | 97.86% |
| | | R元 | 97.77% |

- (4) 国庫支出金 198 億 6,900 万円
 歳入全体の 17.3% (前年度比 △ 6 億 5,400 万円 △ 3.2%)
 (主な内容及び前年度比)

| 区 分 | 主な内容 |
|--|--|
| 民生費国庫補助金 24 億 6,900 万円 (前年度比 △ 38 億 9,000 万円 △ 61.2%) | 子育て特別支援補助金 △ 34 億 7,700 万円 非課税世帯給付補助金 △ 15 億 4,100 万円 |
| 総務費国庫補助金 29 億 9,000 万円 (前年度比 +23 億 8,100 万円 +391.1%) | 地方創生臨時交付金 + 25 億 7,700 万円 価格高騰支援補助金 + 11 億 4,400 万円 |
| 土木費国庫補助金 17 億 1,300 万円 (前年度比 + 7 億 8,700 万円 + 85.0%) | 都市再編集中補助金 + 4 億 8,700 万円 防災・安全交付金 + 1 億 700 万円 |
| 教育費国庫補助金 9 億 8,300 万円 (前年度比 + 2 億 300 万円 + 26.0%) | 学校施設改善交付金 (小学校) + 1 億 4,600 万円 史跡等購入費補助金 + 1 億 2,200 万円 学校施設改善交付金 (中学校) + 9,000 万円 |
| 民生費国庫負担金 94 億 6,500 万円 (前年度比 △ 3,600 万円 △ 0.4%) | 児童手当負担金 △ 1 億 500 万円 |
| 衛生費国庫負担金 13 億 6,500 万円 (前年度比 △ 5,500 万円 △ 3.9%) | 新型ワクチン負担金 △ 3 億 1,300 万円 感染症予防事業負担金 + 2 億 3,900 万円 |

- (5) 地方交付税 154 億 6,500 万円
 歳入全体の 13.5% (前年度比 △ 10 億 5,200 万円 △ 6.4%)

- (6) 諸収入 81 億 8,400 万円
 歳入全体の 7.1% (前年度比 + 10 億 8,000 万円 + 15.2%)
 (主な内容及び前年度比)

| 区 分 | 主な内容 |
|-------------|---------------------------------------|
| 中小企業金融対策預託金 | 59 億 9,000 万円 (前年度比 + 11 億 2,000 万円) |

- (7) 市債 72 億 4,500 万円
 歳入全体の 6.3% (前年度比 △ 29 億 4,400 万円 △ 28.9%)
 (主な内容及び前年度比)

| 区 分 | 主な内容 |
|---------------------|---------------------------------------|
| 臨時財政対策債 | 23 億 7,000 万円 (前年度比 △ 17 億 1,500 万円) |
| 美術館大規模改修事業費充当債 | 皆減 (前年度比 △ 13 億 9,300 万円) |
| 基幹博物館整備事業費充当債 | 18 億 7,100 万円 (前年度比 △ 10 億 4,200 万円) |
| 街路整備事業費充当債 | 4 億 9,300 万円 (前年度比 + 3 億 4,600 万円) |
| 過疎対策事業債 | 4 億 7,600 万円 (前年度比 + 3 億 1,800 万円) |
| 長寿命化改良事業費充当債 (小学校) | 2 億 1,700 万円 (前年度比 皆増) |
| 学校トイレ整備事業費充当債 (小学校) | 2 億 6,700 万円 (前年度比 + 1 億 7,600 万円) |
| 学校トイレ整備事業費充当債 (中学校) | 2 億円 (前年度比 皆増) |
| 一般廃棄物処理事業充当債 | 600 万円 (前年度比 △ 1 億 2,100 万円) |
| 消防防災施設等整備事業費充当債 | 1 億 400 万円 (前年度比 △ 1 億 1,900 万円) |

- (8) 県支出金 72 億 1,100 万円
 歳入全体の 6.3% (前年度比 + 10 億 1,300 万円 + 16.3%)
 (主な内容及び前年度比)

| 区 分 | 主な内容 |
|-------------|-------------------------------------|
| 産地パワーアップ補助金 | 5 億 6,900 万円 (前年度比 + 5 億 5,100 万円) |
| 生活困窮支援補助金 | 1 億 2,000 万円 (前年度比 皆増) |
| 特別警報事業者交付金 | 皆減 (前年度比 △ 1 億 9,700 万円) |

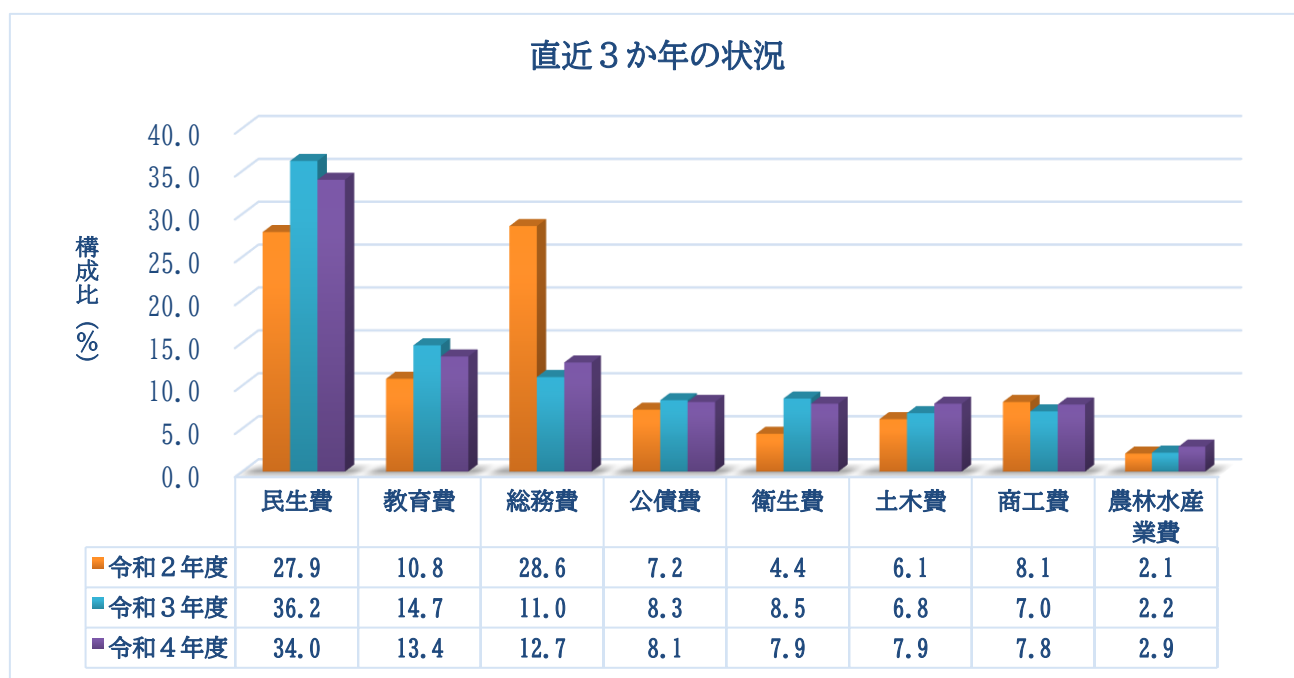
- (9) 地方消費税交付金 65 億 1,200 万円
 歳入全体の 5.7% (前年度比 + 2 億 8,800 万円 + 4.6%)

- (10) 繰入金 44 億 8,300 万円
 歳入全体の 3.9% (前年度比 + 18 億 9,500 万円 + 73.3%)

- (11) 不納欠損額 9,600 万円 (前年度比 △ 3,300 万円 △ 26.0%)
 うち市税 4,600 万円 (前年度比 △ 1,900 万円 △ 29.4%)

- (12) 収入未済額 7 億 9,800 万円 (前年度比 △ 9,600 万円 △ 10.8%)
 うち市税 4 億 6,100 万円 (前年度比 △ 7,600 万円 △ 14.3%)

- (13) 歳出の款別構成比



- (14) 款別支出額

| | | | | |
|-----|----------------|-------|-----------------|----------|
| 民生費 | 380 億 1,800 万円 | (前年度比 | △ 20 億 2,600 万円 | △ 5.1%) |
| 教育費 | 149 億 5,700 万円 | (前年度比 | △ 12 億 9,700 万円 | △ 8.0%) |
| 総務費 | 142 億 1,700 万円 | (前年度比 | + 20 億 8,900 万円 | + 17.2%) |
| 公債費 | 90 億 8,700 万円 | (前年度比 | △ 6,500 万円 | △ 0.7%) |
| 衛生費 | 88 億 4,500 万円 | (前年度比 | △ 6 億 700 万円 | △ 6.4%) |
| 土木費 | 88 億 3,000 万円 | (前年度比 | + 12 億 9,300 万円 | + 17.2%) |

商工費 87億 8,300万円 (前年度比 + 10億 7,000万円 + 13.9%)
 農林水産業費 32億 1,200万円 (前年度比 + 7億 3,400万円 + 29.6%)

(15) 翌年度繰越額(繰越明許費・事故繰越) 52億 4,400万円

(前年度比 △ 3億 3,200万円 △ 6.0%)

(主な繰越事業費：繰越明許費)

| 区 分 | 主な事業名 |
|--|---|
| 衛生費 5億 6,700万円 (前年度比 皆増) | 出産・子育て応援事業 エコトピア山田再整備事業 |
| 教育費 30億 7,400万円 (前年度比 + 17億 4,500万円 + 131.3%) | 長寿命化改良事業(小学校)、学校トイレ 整備事業(小・中学校)、国宝松本城南・ 西外堀復元事業 |

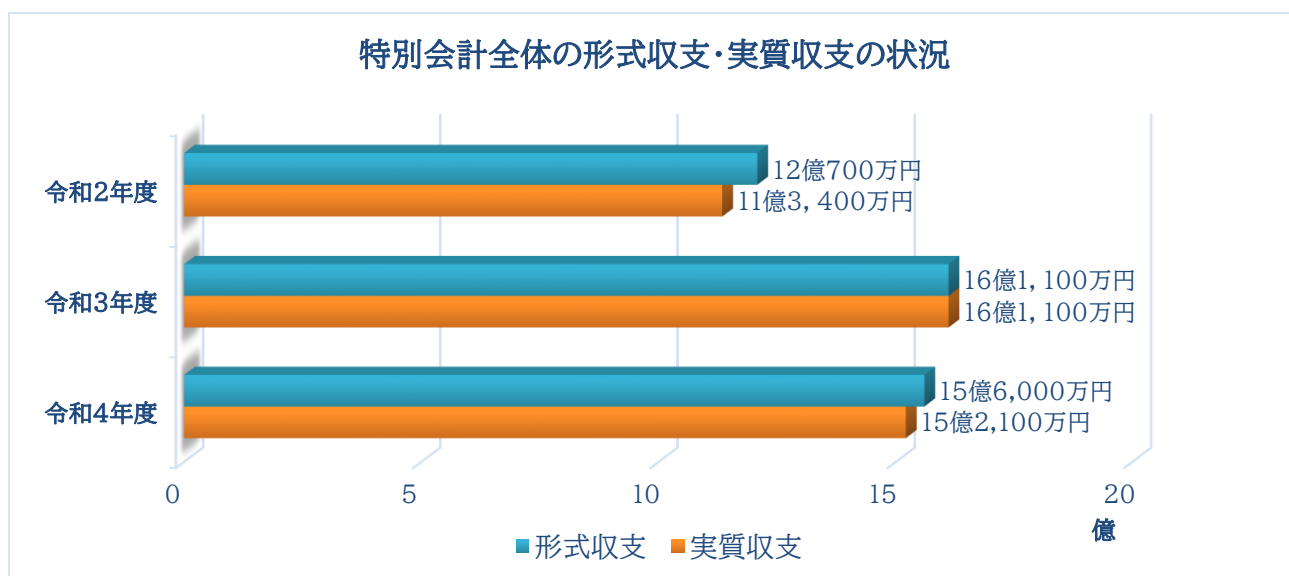
(主な繰越事業費：事故繰越)

| 区 分 | 事業名 |
|--------------------------|-------------------------------|
| 教育費 4,800万円 (前年度比 皆増) | 国庫補助南・西外堀復元事業(令和3年度 繰越明許費) |

3 特別会計の決算(特別会計数 11会計)

(1) 特別会計全体の決算額

歳入総額 525億 200万円 (前年度比 + 7億 1,400万円 + 1.4%)
 歳出総額 509億 4,200万円 (前年度比 + 7億 6,600万円 + 1.5%)
 形式収支 15億 6,000万円 (前年度比 △ 5,100万円 △ 3.2%)
 実質収支 15億 2,100万円 (前年度比 △ 8,900万円 △ 5.6%)



(2) 特別会計の決算の概要

ア 黒字決算会計 … 6会計(実質収支)

(ア) 母子父子寡婦福祉資金貸付金 1,400万円 (前年度比 + 600万円 + 76.4%)
 (イ) 霊園 1億 2,100万円 (前年度比 + 4,000万円 + 49.2%)
 (ウ) 国民健康保険 6億 4,400万円 (前年度比 △ 2億 1,900万円 △ 25.4%)

国民健康保険（事業勘定）の状況

歳入総額 234 億 9,800 万円（前年度比 △ 6 億 1,700 万円 △ 2.6%）

うち国民健康保険税 45 億 6,900 万円

歳入総額の 19.4%（前年度比 △ 4 億 2,200 万円 △ 8.5%）

収入未済額 9 億 2,900 万円（前年度比 △ 1 億 4,200 万円 △ 13.3%）

不納欠損額 1 億 9,300 万円（前年度比 + 3,500 万円 + 22.1%）

（収納率） 現年分 94.01%（前年度 94.01% 同率）

滞繰分 20.73%（前年度 20.15% + 0.58ポイント）

合計 80.26%（前年度 80.22% + 0.04ポイント）

R2 78.37%、R元 75.57%

歳出総額 228 億 5,300 万円（前年度比 △ 3 億 9,800 万円 △ 1.7%）

(エ) 後期高齢者医療 1 億 500 万円（前年度比 + 1,100 万円 + 12.8%）

(オ) 介護保険 5 億 6,200 万円（前年度比 △ 2,000 万円 △ 3.5%）

(カ) 松本城 1 億 500 万円（前年度比 皆増）

イ 収支均衡

収支均衡会計 … 4 会計（一般会計繰入金により歳入歳出差引額が 0 円の会計）

地域排水施設事業、農業集落排水事業、公設地方卸売市場及び奈川観光施設事業

ウ 赤字決算

市街地駐車場事業特別会計は、赤字決算。このため、令和 5 年度からの繰上充用金により補填

市街地駐車場事業 △ 3,300 万円（前年度比 △ 1,400 万円）

(3) 翌年度繰越額（繰越明許費） 松本城 4,100 万円（前年度比 皆増）

4 全会計の決算（一般会計+特別会計）

(1) 全会計の決算額

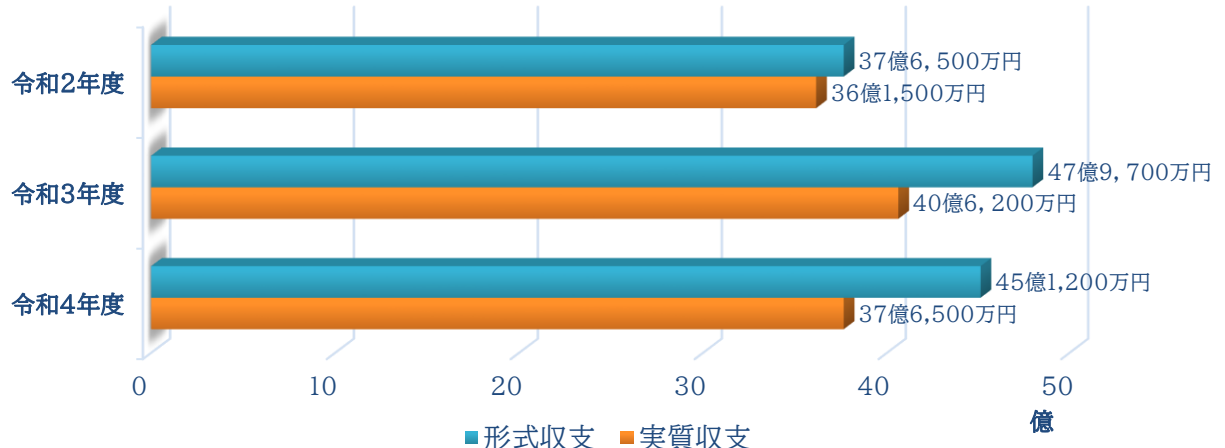
歳入総額 1,673 億 5,700 万円（前年度比 + 17 億 7,300 万円 + 1.1%）

歳出総額 1,628 億 4,500 万円（前年度比 + 20 億 5,800 万円 + 1.3%）

形式収支 45 億 1,200 万円（前年度比 △ 2 億 8,500 万円 △ 5.9%）

実質収支 37 億 6,500 万円（前年度比 △ 2 億 9,600 万円 △ 7.3%）

全会計の形式収支・実質収支の状況



- (2) 不納欠損額 3億1,300万円 (前年度比 微増 + 0.1%)
- (3) 収入未済額 18億4,400万円 (前年度比 △ 2億5,800万円 △ 12.3%)
- (4) 翌年度繰越額(繰越明許費・事故繰越) 52億8,500万円
(前年度比 △ 2億9,100万円 △ 5.2%)
- (5) 不用額 68億5,000万円 (前年度比 + 14億3,900万円 + 26.6%)
- (6) 市債残高 735億7,200万円 (前年度比 △ 14億4,700万円 △ 1.9%)
 ア 一般会計 718億9,200万円 (前年度比 △ 16億8,300万円 △ 2.3%)
 イ 特別会計 16億8,000万円 (前年度比 + 2億3,600万円 +16.3%)
- (7) 会計別決算一覧表 別紙のとおり

5 基金残高 406億3,000万円 (前年度比 △ 14億6,700万円 △ 3.5%)
 主な基金残高

| 基金名 | 基金残高 | 前年度比較 |
|-----------------|------------|-------------|
| 財政調整基金 | 138億800万円 | + 5,300万円 |
| 減債基金 | 56億6,300万円 | △ 2億2,000万円 |
| 地域振興基金 | 35億1,400万円 | △ 8,100万円 |
| 庁舎整備基金 | 2億1,800万円 | △ 7,100万円 |
| 土地開発基金 | 20億5,000万円 | 微増 |
| 小・中学校施設整備基金 | 35億6,200万円 | △ 900万円 |
| 松本城施設整備基金 | 8億7,900万円 | △ 5,100万円 |
| 芸術文化振興基金 | 5億2,300万円 | △ 13億円 |
| 社会福祉基金 | 11億3,600万円 | △ 6,700万円 |
| 介護保険給付準備基金 | 13億5,800万円 | + 3億500万円 |
| 庁舎建設基金 | 34億1,600万円 | + 200万円 |
| 森林環境譲与税活用基金 | 2億2,000万円 | + 7,500万円 |
| 新型コロナウイルス金融対策基金 | 1億5,600万円 | △ 1億3,100万円 |

※ 数値は、出納整理期間を含めた令和4年度予算によるものです。

担当 会計課
 課長 前澤 典子
 (内線 6000)

令和4年度松本市会計別決算一覧表

| 会計別 | 歳入 | | | | | | | 歳出 | | | | | 歳入歳出差引額 (A)-(B) | | |
|----------|---|--|--|--|--------------------------------------|--|--|---|--|--|---|--|---|---|--|
| | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 (A) | 収入率 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 予算現額と収入 済額との比較 | 予算現額 | 支出済額 (B) | 執行率 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 形式収支 | 実質収支 | |
| 一般会計 | 121,631,026,318 2,253,694,293 1.9 | 115,750,580,782 927,971,584 0.8 | 114,855,125,887 1,058,728,002 0.9 | 94.4 △ 0.9 | 96,676,200 △ 33,922,453 △ 26.0 | 798,778,695 △ 96,833,965 △ 10.8 | △ 6,775,900,431 △ 1,194,966,291 21.4 | 121,631,026,318 2,253,694,293 1.9 | 111,903,294,824 1,292,275,883 1.2 | 92.0 △ 0.7 | 5,244,234,681 △ 332,771,637 △ 6.0 | 4,483,496,813 1,294,190,047 40.6 | 2,951,831,063 △ 233,547,881 △ 7.3 | 2,243,846,602 △ 206,708,540 △ 8.4 | |
| 特別会計 | 母子父子寡婦 福祉資金貸付金 | 31,770,000 480,000 1.5 | 70,101,171 7,000,735 11.1 | 31,919,518 6,742,832 26.8 | 100.5 20.0 | 0 257,903 0.7 | 149,518 6,262,832 △ 102.4 | 31,770,000 480,000 1.5 | 17,109,027 329,365 2.0 | 53.9 0.2 | 0 0 0.0 | 14,660,973 150,635 1.0 | 14,810,491 6,413,467 76.4 | 14,810,491 6,413,467 76.4 | |
| | 豊 園 | 198,370,000 △ 7,600,000 △ 3.7 | 223,747,341 5,782,999 2.7 | 218,673,291 5,610,899 2.6 | 110.2 6.8 | 124,100 △ 21,290 △ 14.6 | 4,949,950 193,390 4.1 | 20,303,291 13,210,899 186.3 | 198,370,000 △ 7,600,000 △ 3.7 | 96,882,813 △ 34,577,518 △ 26.3 | 48.8 △ 15.0 | 0 26,977,518 36.2 | 101,487,187 40,188,417 49.2 | 121,790,478 40,188,417 49.2 | |
| | 地域排水施設事業 | 102,590,000 9,370,000 10.1 | 102,363,622 8,357,102 8.9 | 101,360,242 9,068,032 9.8 | 98.8 △ 0.2 | 0 0 0.0 | 1,003,380 △ 710,930 △ 41.5 | △ 1,229,758 △ 301,968 32.5 | 102,590,000 9,370,000 10.1 | 101,360,242 9,068,032 9.8 | 98.8 △ 0.2 | 0 0 0.0 | 1,229,758 301,968 32.5 | 0 0 0.0 | 0 0 0.0 |
| | 国民健康保険 (事業勘定) | 24,263,700,000 △ 152,660,000 △ 0.6 | 24,644,313,889 △ 729,358,969 △ 2.9 | 23,498,811,385 △ 617,416,669 △ 2.6 | 96.8 △ 1.9 | 197,370,544 36,042,875 22.3 | 948,131,960 △ 147,985,175 △ 13.5 | △ 764,888,615 △ 464,756,669 154.9 | 24,263,700,000 △ 152,660,000 △ 0.6 | 22,853,853,344 △ 398,360,990 △ 1.7 | 94.2 △ 1.0 | 0 0 0.0 | 1,409,846,656 245,700,990 21.1 | 644,958,041 △ 219,055,679 △ 25.4 | 644,958,041 △ 219,055,679 △ 25.4 |
| | 国民健康保険 (直診勘定) | 223,690,000 148,600,000 197.9 | 219,444,965 146,754,200 201.9 | 219,444,965 146,754,200 201.9 | 98.1 1.3 | 0 0 0.0 | 0 0 0.0 | △ 4,245,035 △ 1,845,800 76.9 | 223,690,000 148,600,000 197.9 | 219,444,965 146,754,200 201.9 | 98.1 1.3 | 0 0 0.0 | 4,245,035 1,845,800 76.9 | 0 0 0.0 | 0 0 0.0 |
| | 後期高齢者医療 | 3,317,360,000 83,800,000 2.6 | 3,354,661,458 101,415,868 3.1 | 3,333,051,781 100,013,409 3.1 | 100.5 0.5 | 3,530,490 △ 38,630 △ 1.1 | 18,079,187 1,441,089 8.7 | 15,691,781 16,213,409 △ 3108.2 | 3,317,360,000 83,800,000 2.6 | 3,227,688,990 88,077,887 2.8 | 97.3 0.2 | 0 0 0.0 | 89,671,010 △ 4,277,887 △ 4.6 | 105,362,791 11,935,522 12.8 | 105,362,791 11,935,522 12.8 |
| | 介護保険 | 22,771,330,000 46,190,000 0.2 | 22,860,096,305 306,758,943 1.4 | 22,797,391,511 311,932,215 1.4 | 100.1 1.2 | 15,838,435 △ 1,678,418 △ 9.6 | 46,866,359 △ 3,494,854 △ 6.9 | 26,061,511 265,742,215 △ 110.9 | 22,771,330,000 46,190,000 0.2 | 22,235,045,970 332,608,024 1.5 | 97.6 1.3 | 0 0 0.0 | 536,284,030 △ 286,418,024 △ 34.8 | 562,345,541 △ 20,675,809 △ 3.5 | 562,345,541 △ 20,675,809 △ 3.5 |
| | 農業集落排水事業 | 105,170,000 10,000 0.0 | 104,416,808 657,286 0.6 | 104,146,388 638,816 0.6 | 99.0 0.6 | 56,030 34,480 160.0 | 214,390 △ 16,010 △ 6.9 | △ 1,023,612 628,816 △ 38.1 | 105,170,000 10,000 0.0 | 104,146,388 638,816 0.6 | 99.0 0.6 | 0 0 0.0 | 1,023,612 △ 628,816 △ 38.1 | 0 0 0.0 | 0 0 0.0 |
| | 公設地方卸売市場 | 721,620,000 258,020,000 55.7 | 680,558,489 235,070,780 52.8 | 680,558,489 235,070,780 52.8 | 94.3 △ 1.8 | 0 0 0.0 | 0 0 0.0 | △ 41,061,511 △ 22,949,220 126.7 | 721,620,000 258,020,000 55.7 | 680,558,489 235,070,780 52.8 | 94.3 △ 1.8 | 0 0 0.0 | 41,061,511 22,949,220 126.7 | 0 0 0.0 | 0 0 0.0 |
| | 市街地駐車場事業 | 272,770,000 53,380,000 24.3 | 213,935,252 16,970,463 8.6 | 212,560,572 15,595,783 7.9 | 77.9 △ 11.9 | 0 0 0.0 | 1,374,680 1,374,680 0.0 | △ 60,209,428 △ 37,784,217 168.5 | 272,770,000 53,380,000 24.3 | 245,774,207 30,179,322 14.0 | 90.1 △ 8.2 | 0 0 0.0 | 26,995,793 23,200,678 611.3 | △ 33,213,635 △ 14,583,539 78.3 | △ 33,213,635 △ 14,583,539 78.3 |
| 奈川観光施設事業 | 104,020,000 △ 15,250,000 △ 12.8 | 103,558,985 △ 14,310,437 △ 12.1 | 103,558,985 △ 14,310,437 △ 12.1 | 99.6 0.7 | 0 0 0.0 | 0 0 0.0 | △ 461,015 939,563 △ 67.1 | 104,020,000 △ 15,250,000 △ 12.8 | 103,558,985 △ 14,310,437 △ 12.1 | 99.6 0.7 | 0 0 0.0 | 461,015 △ 939,563 △ 67.1 | 0 0 0.0 | 0 0 0.0 | |
| 松 本 城 | 1,237,670,000 528,740,000 74.6 | 1,200,811,556 514,889,507 75.1 | 1,200,811,556 514,889,507 75.1 | 97.0 0.3 | 0 0 0.0 | 0 0 0.0 | △ 36,858,444 △ 13,850,493 60.2 | 1,237,670,000 528,740,000 74.6 | 1,056,599,623 370,677,574 54.0 | 85.4 △ 11.4 | 41,195,700 41,195,700 皆増 | 139,874,677 116,866,726 507.9 | 144,211,933 144,211,933 0.0 | 105,930,233 105,930,233 0.0 | |
| 小 計 | 53,350,060,000 953,080,000 1.8 | 53,778,009,841 599,988,477 1.1 | 52,502,288,683 714,589,367 1.4 | 98.4 △ 0.4 | 216,919,599 34,339,017 18.8 | 1,058,801,559 △ 148,939,907 △ 12.3 | △ 847,771,317 △ 238,490,633 39.1 | 53,350,060,000 953,080,000 1.8 | 50,942,023,043 766,155,055 1.5 | 95.5 △ 0.3 | 41,195,700 41,195,700 皆増 | 2,366,841,257 145,729,245 6.6 | 1,560,265,640 △ 51,565,688 △ 3.2 | 1,521,983,940 △ 89,847,388 △ 5.6 | |
| 合 計 | 174,981,086,318 3,206,774,293 1.9 | 169,528,590,623 1,527,960,061 0.9 | 167,357,414,570 1,773,317,369 1.1 | 95.6 △ 0.8 | 313,595,799 416,564 0.1 | 1,857,580,254 △ 245,773,872 △ 11.7 | △ 7,623,671,748 △ 1,433,456,924 23.2 | 174,981,086,318 3,206,774,293 1.9 | 162,845,317,867 2,058,430,938 1.3 | 93.1 △ 0.5 | 5,285,430,381 △ 291,575,937 △ 5.2 | 6,850,338,070 1,439,919,292 26.6 | 4,512,096,703 △ 285,113,569 △ 5.9 | 3,765,830,542 △ 296,555,928 △ 7.3 | |

※ 中・下段は、前年度決算対比(額・率)

※ 実質収支は、形式収支から翌年度への繰越財源を控除した額を示す。

(報告事項)

令和4年度上高地観光施設事業会計決算について

1 趣旨

令和4年度松本市上高地観光施設事業会計決算の概要について報告するものです。

2 決算の概要

(1) 収益的収入及び支出の状況

| | | | | |
|--------|-----------|-------|------------|---------|
| 事業収益 | 3億4,050万円 | (前年度比 | +1億2,870万円 | +60.8%) |
| 事業費用 | 3億4,440万円 | (前年度比 | +6,830万円 | +24.7%) |
| 当年度純損失 | 390万円 | (前年度比 | △6,040万円 | △93.9%) |

当年度未処理欠損金 1億8,880万円 (前年度比 +400万円 +2.2%)

(2) 資本的収入及び支出状況

| | | | | |
|-------|----------|-------|----------|----------|
| 資本的収入 | 0万円 | (前年度比 | △8,760万円 | 皆減) |
| 資本的支出 | 4,440万円 | (前年度比 | +300万円 | +7.2%) |
| 収支計 | △4,440万円 | (前年度比 | △9,060万円 | △196.1%) |

3 施設別営業概要

上段：利用人数（人） 下段：営業収益（千円）

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により休業期間あり

| 施設名 | 元 | 2 | 3 | 4 | 前年度比 | |
|--------------------------------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|
| | | | | | 増減率 | 増減数 |
| 上高地アルペンホテル | 8,625 | 4,284 | 4,286 | 8,216 | 91.7% | 3,930 |
| 〈和室8 洋室12 和洋室3〉 〈定員135名〉 | 184,410 | 96,550 | 99,390 | 171,180 | 72.2% | 71,790 |
| 上高地食堂 | 118,664 | 39,642 | 48,589 | 79,262 | 63.1% | 30,673 |
| 〈食堂2F 100席 売店1F・2F〉 | 124,200 | 40,920 | 52,790 | 88,940 | 68.5% | 36,150 |
| 徳沢ロッヂ | 4,663 | 2,058 | 3,148 | 4,294 | 36.4% | 1,146 |
| 〈和室3 洋室4 相 部屋5〉 〈定員80名〉 | 66,060 | 30,060 | 46,070 | 72,440 | 57.2% | 26,370 |
| 焼岳小屋 | 697 | 263 | 297 | 124 | △58.2% | △173 |
| 〈収容人員25名〉 | 8,900 | 4,200 | 5,460 | 2,470 | △54.8% | △2,990 |
| 合計 | 133,180 | 46,247 | 56,320 | 91,896 | 63.2% | 35,576 |
| | 383,570 | 171,730 | 203,710 | 335,030 | 64.5% | 131,320 |

担当 アルプスリゾート整備本部
次長 宮澤 憲治
(内線35210)

| 上高地観光施設事業会計 | | 4年度 | 3年度 | 前年度比較 | 備考 | |
|-------------------------|----------|---------------|--------------|-------------|-------------|--|
| 収益的 収支 | 事業収益 (A) | 340,473,718 | 211,849,442 | 128,624,276 | | |
| | 営業収益 | 利用収益 | 294,922,499 | 178,395,009 | 116,527,490 | 新型コロナウイルス感染拡大による行動制限が緩和された事などから、大幅な増となった |
| | | 売店収益 | 31,795,988 | 17,594,124 | 14,201,864 | 新型コロナウイルス感染拡大による行動制限が緩和された事などから、大幅な増となった |
| | | 雑収益 | 8,308,634 | 7,722,717 | 585,917 | |
| | 営業外収益 | 受取利息及び配当金 | 907 | 491 | 416 | |
| | | 他会計繰入金 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 雑収益 | 3,227,841 | 5,919,252 | △ 2,691,411 | 山小屋公益的機能維持等支援金 信州の山小屋応援プロジェクト寄付金他 |
| | | 長期前受金戻入 | 2,217,849 | 2,217,849 | 0 | |
| | 事業費用 (B) | 344,420,440 | 276,104,522 | 68,315,918 | | |
| | 営業費用 | 人件費 | 110,793,661 | 101,717,700 | 9,075,961 | |
| | | 物件費 | 173,452,870 | 122,157,277 | 51,295,593 | |
| | | 維持補修費 | 6,321,545 | 6,140,855 | 180,690 | |
| | | その他 | 4,140,485 | 4,182,145 | △ 41,660 | |
| | | 減価償却費 | 32,847,918 | 32,847,918 | 0 | |
| | | 固定資産除却費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 営業外費用 | 支払利息及び企業債取扱諸費 | 1,457,257 | 1,418,500 | 38,757 | 松本市一般会計長期借入金分増加 |
| | | 借入金利息 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 雑支出 | 735 | 262 | 473 | |
| | 支払消費税 | 支払消費税 | 15,405,969 | 7,639,865 | 7,766,104 | |
| | 特別損益 (C) | 0 | 0 | 0 | | |
| 特別利益 | 過年度損益修正益 | 0 | 0 | 0 | | |
| 特別損失 | 過年度損益修正損 | 0 | 0 | 0 | | |
| 収益費用差引額 (A) - (B) + (C) | | △ 3,946,722 | △ 64,255,080 | 60,308,358 | | |

| | | 4年度 | 3年度 | 前年度比較 | 備考 | |
|-------------------|-----------|--------------|------------|--------------|--------------|--|
| 資本的 収支 | 資本的収入 (A) | 0 | 87,600,000 | △ 87,600,000 | | |
| | 企業債 | 企業債 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 他会計繰入金 | 0 | 87,600,000 | △ 87,600,000 | |
| | 資本的支出 (B) | 44,435,000 | 41,379,000 | 3,056,000 | | |
| | 建設改良費 | 建設改良費 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 企業債償還金 | 44,435,000 | 41,379,000 | 3,056,000 | |
| 資本収支差引額 (A) - (B) | | △ 44,435,000 | 46,221,000 | △ 90,656,000 | | |

| |
|-------------|
| 庁 議 資 料 |
| 5 . 6 . 2 7 |
| 上 下 水 道 局 |

(報告事項)

令和4年度松本市水道事業会計及び下水道事業会計の決算について

1 趣 旨

令和4年度松本市水道事業会計決算及び松本市下水道事業会計決算の概要について報告するものです。

2 決算の概要

(1) 水道事業会計決算の概要 () 内は前年度比較

ア 給水状況等 ※1万m³未満切り捨て

| | | | | |
|--------|----------------------|-------|---------------------|---------|
| 年間総給水量 | 2,870万m ³ | (前年度比 | △ 32万m ³ | △ 1.1%) |
| 年間有収水量 | 2,515万m ³ | (前年度比 | △ 24万m ³ | △ 1.0%) |
| 有収率 | 87.6% | (前年度比 | + 0.1ポイント) | |

イ 収益的収入及び支出の状況(消費税及び地方消費税を除く。) ※100万円未満切り捨て

| | | | | |
|-------------|------------|---------|-----------|---------|
| 水道事業収益 | 50億4,300万円 | (前年度比 + | 2,700万円 | + 0.5%) |
| 水道事業費用 | 50億2,800万円 | (前年度比 + | 2億円 | + 4.2%) |
| 当年度純利益 | 1,500万円 | (前年度比 △ | 1億7,300万円 | △91.8%) |
| 当年度未処分利益剰余金 | 3億6,300万円 | (前年度比 △ | 6億3,800万円 | △63.7%) |

ウ 資本的収入及び支出の状況(消費税及び地方消費税を含む。) ※100万円未満切り捨て

| | | | | |
|----------|------------|---------|-----------|---------|
| 資本的収入 | 8億1,100万円 | (前年度比 △ | 1億 700万円 | △11.7%) |
| 資本的支出 | 23億5,000万円 | (前年度比 △ | 7億5,300万円 | △24.3%) |
| 補てん財源使用額 | 15億3,900万円 | (前年度比 △ | 6億4,500万円 | △29.5%) |

(2) 下水道事業会計決算の概要 () 内は前年度比較

ア 処理状況等 ※1万m³未満切り捨て

| | | | | |
|---------|----------------------|-------|----------------------|---------|
| 年間総処理水量 | 3,617万m ³ | (前年度比 | △ 213万m ³ | △ 5.6%) |
| 年間有収水量 | 2,696万m ³ | (前年度比 | + 8万m ³ | + 0.3%) |
| 有収率 | 74.5% | (前年度比 | + 4.4ポイント) | |

イ 収益的収入及び支出の状況(消費税及び地方消費税を除く。) ※100万円未満切り捨て

| | | | | |
|--------------------|------------|---------|-----------|---------|
| 下水道事業収益 | 72億 900万円 | (前年度比 + | 3億4,000万円 | + 5.0%) |
| 下水道事業費用 | 62億5,500万円 | (前年度比 + | 3億1,200万円 | + 5.3%) |
| 当年度純利益 | 9億5,300万円 | (前年度比 + | 2,700万円 | + 3.0%) |
| 当年度未処分利益剰余金 | 17億2,300万円 | (前年度比 △ | 2億1,000万円 | △10.9%) |
| (うち、その他未処分利益剰余金変動額 | 3億6,100万円 | 前年度比 | △2億 400万円 | △36.0%) |

ウ 資本的収入及び支出の状況(消費税及び地方消費税を含む。) ※100万円未満切り捨て

| | | | | |
|----------|------------|---------|------------|---------|
| 資本的収入 | 24億 600万円 | (前年度比 △ | 8億2,000万円 | △25.4%) |
| 資本的支出 | 47億4,700万円 | (前年度比 △ | 11億8,200万円 | △19.9%) |
| 補てん財源使用額 | 23億4,100万円 | (前年度比 △ | 3億6,100万円 | △13.4%) |

【松本市水道事業会計】

給水状況等

| 区 分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減数 | 増減率 |
|--------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|---------|
| 年間総給水量 | 28,702,751 m ³ | 29,023,270 m ³ | △ 320,519 m ³ | △ 1.1 % |
| 年間有収水量 | 25,153,160 m ³ | 25,402,162 m ³ | △ 249,002 m ³ | △ 1.0 % |
| 有 収 率 | 87.6 % | 87.5 % | 0.1 ポイント | — |

収益的収入及び支出の状況（消費税及び地方消費税を除く。）

| 区 分 | 令和4年度 決算額 | 令和3年度 決算額 | 対前年度 | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 水道事業収益 | 5,043,982,796 円 | 5,016,522,636 円 | 27,460,160 円 | 0.5 % |
| 水道事業費用 | 5,028,519,500 円 | 4,827,780,961 円 | 200,738,539 円 | 4.2 % |
| 当年度純利益 | 15,463,296 円 | 188,741,675 円 | △ 173,278,379 円 | △ 91.8 % |
| 当年度未処分 利益剰余金 | 363,631,854 円 | 1,002,351,086 円 | △ 638,719,232 円 | △ 63.7 % |

資本的収入及び支出の状況（消費税及び地方消費税を含む。）

| 区 分 | 令和4年度 決算額 | 令和3年度 決算額 | 対前年度 | |
|----------|-----------------|-----------------|-----------------|----------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 資本的収入 | 811,689,448 円 | 919,617,691 円 | △ 107,928,243 円 | △ 11.7 % |
| 資本的支出 | 2,350,873,937 円 | 3,104,198,344 円 | △ 753,324,407 円 | △ 24.3 % |
| 補てん財源使用額 | 1,539,184,489 円 | 2,184,580,653 円 | △ 645,396,164 円 | △ 29.5 % |

【松本市下水道事業会計】

処理状況等

| 区 分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減数 | 増減率 |
|---------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|---------|
| 年間総処理水量 | 36,179,026 m ³ | 38,316,284 m ³ | △ 2,137,258 m ³ | △ 5.6 % |
| 年間有収水量 | 26,964,749 m ³ | 26,876,177 m ³ | 88,572 m ³ | 0.3 % |
| 有 収 率 | 74.5 % | 70.1 % | 4.4 ポイント | — |

収益的収入及び支出の状況（消費税及び地方消費税を除く。）

| 区 分 | 令和4年度 決 算 額 | 令和3年度 決 算 額 | 対前年度 | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 下水道事業収益 | 7,209,283,637 円 | 6,868,850,499 円 | 340,433,138 円 | 5.0 % |
| 下水道事業費用 | 6,255,717,906 円 | 5,942,979,832 円 | 312,738,074 円 | 5.3 % |
| 当年度純利益 | 953,565,731 円 | 925,870,667 円 | 27,695,064 円 | 3.0 % |
| 当年度未処分 利益剰余金 | 1,723,286,398 円 | 1,933,750,895 円 | △ 210,464,497 円 | △ 10.9 % |

資本的収入及び支出の状況（消費税及び地方消費税を含む。）

| 区 分 | 令和4年度 決 算 額 | 令和3年度 決 算 額 | 対前年度 | |
|----------|-----------------|-----------------|-------------------|----------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 資本的収入 | 2,406,788,767 円 | 3,227,544,645 円 | △ 820,755,878 円 | △ 25.4 % |
| 資本的支出 | 4,747,941,914 円 | 5,930,574,452 円 | △ 1,182,632,538 円 | △ 19.9 % |
| 補てん財源使用額 | 2,341,153,147 円 | 2,703,029,807 円 | △ 361,876,660 円 | △ 13.4 % |



次世代につなぐ、松本のみず
まつもと水道100周年

担当 営業課
課長 田中 智絵子
(内線3020)

(報告事項)

令和4年度松本市病院事業会計の決算について

1 趣 旨

令和4年度松本市病院事業会計決算の概要について報告するものです。

2 決算の概要

(1) 松本市立病院の決算の概要

ア 患者数

(ア) 入院患者数は 49,940人 (前年度比 △ 1,096人 △ 2.1%)

うち新型コロナウイルス感染症陽性患者数は 延べ9,964人、入院患者全体の19.9%

(イ) 外来患者数は 98,109人 (前年度比 + 8,960人 + 10.1%)

イ 収益的収入及び支出の状況(消費税及び地方消費税を除く。)

| 収支状況 | | 前年度比 | |
|-------------|------------|-----------|---------|
| | | 増減額 | 増減率 |
| 経常収益 | 54億7,300万円 | 5,400万円 | 1.0% |
| うち医業収益 | 42億2,000万円 | 1億3,400万円 | 3.3% |
| うち医業外収益 | 12億5,200万円 | △ 8,000万円 | △ 6.1% |
| うち国県補助金 | 7億7,000万円 | 400万円 | 0.6% |
| うち一般会計負担金 | 2億7,700万円 | △ 9,400万円 | △ 25.4% |
| 経常費用 | 49億9,800万円 | 1億2,000万円 | 2.5% |
| 経常損益 | 4億7,500万円 | △ 6,600万円 | △ 12.3% |
| 特別利益 | 0円 | - | - |
| 特別損失 | 200万円 | 200万円 | 皆増 |
| 特別損益 | △200万円 | △ 200万円 | 皆減 |
| 当年度純損益 | 4億7,300万円 | △ 6,800万円 | △ 12.6% |
| 当年度未処分利益剰余金 | 7億2,500万円 | 4億7,300万円 | 187.7% |

ウ 資本的収入及び支出の状況(消費税及び地方消費税を含む。)

| 収支状況 | | 前年度比 | |
|----------|-----------|------------|---------|
| | | 増減額 | 増減率 |
| 資本的収入 | 2億2,800万円 | △1億6,500万円 | △ 42.1% |
| 資本的支出 | 4億9,000万円 | △ 9,700万円 | △ 16.6% |
| 補てん財源使用額 | 2億6,200万円 | 6,800万円 | 34.6% |

(2) 四賀の里クリニックの決算の概要

ア 患者数

(ア) 外来患者数は 9,121人 (前年度比 + 254人 + 2.9%)

イ 収益的収入及び支出の状況(消費税及び地方消費税を除く。)

| 収支状況 | | 前年度比 | |
|--------------|-----------|-----------|----------|
| | | 増減額 | 増減率 |
| 経常収益 | 2億3,400万円 | △ 200万円 | △ 1.0% |
| 経常費用 | 2億3,700万円 | 1,400万円 | 6.2% |
| 経常損益(当年度純損益) | △300万円 | △ 1,600万円 | △ 123.6% |
| 当年度未処分利益剰余金 | 1,700万円 | △ 300万円 | △ 15.6% |

ウ 資本的収入及び支出の状況(消費税及び地方消費税を含む。)

| 収支状況 | | 前年度比 | |
|----------|-------|---------|---------|
| | | 増減額 | 増減率 |
| 資本的収入 | 400万円 | △ 400万円 | △ 47.5% |
| 資本的支出 | 700万円 | △ 600万円 | △ 43.7% |
| 補てん財源使用額 | 300万円 | △ 200万円 | △ 36.1% |

【松本市病院事業会計】

1 患者数及び入院、外来収益等の状況

(1) 松本市立病院

| 区 分 | | 患 者 数 | | 収 益 | |
|-------------------|--------|----------|-----------|-----------|-------------|
| | | 延 数 人 | 1日平均 人 | 金 額 千円 | 1人1日平均 円 |
| 入 院 診療日数 365 日 | 本 年 度 | 49,940 | 136.8 | 2,248,277 | 45,020 |
| | 前 年 度 | 51,036 | 139.8 | 2,251,938 | 44,125 |
| | 増 減 | △ 1,096 | △ 3.0 | △ 3,661 | 895 |
| | 増減率(%) | △ 2.1 | △ 2.1 | △ 0.2 | 2.0 |
| 外 来 診療日数 243 日 | 本 年 度 | 98,109 | 403.7 | 1,587,616 | 16,182 |
| | 前 年 度 | 89,149 | 368.4 | 1,429,107 | 16,031 |
| | 増 減 | 8,960 | 35.3 | 158,509 | 151 |
| | 増減率(%) | 10.1 | 9.6 | 11.1 | 0.9 |

(R3診療日数 365日)

(R3診療日数 242日)

| 区 分 | | 患 者 数 | | | 収 益 | |
|-----------------------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 訪問延数 人 | 訪問件数 件 | 1日平均 人 | 金 額 千円 | 1件平均 円 |
| 訪 問 看 護 営業日数 243 日 | 本 年 度 | 1,115 | 5,126 | 21.1 | 52,236 | 10,190 |
| | 前 年 度 | 1,033 | 5,008 | 20.7 | 51,925 | 10,368 |
| | 増 減 | 82 | 118 | 0.4 | 311 | △ 178 |
| | 増減率(%) | 7.9 | 2.4 | 1.9 | 0.6 | △ 1.7 |

(R3営業日数 242日)

| 区 分 | | 延 利 用 者 数 | |
|----------------------------------|--------|-----------|-----------|
| | | 延数 人 | 1日平均 人 |
| 人 間 ド ッ ク ・ 健 診 営業日数 243 日 | 本 年 度 | 5,967 | 24.6 |
| | 前 年 度 | 5,728 | 23.7 |
| | 増 減 | 239 | 0.9 |
| | 増減率(%) | 4.2 | 3.7 |

(R3営業日数 242日)

(2) 四賀の里クリニック

| 区 分 | | 患 者 数 | | 収 益 | |
|-------------------|--------|----------|-----------|-----------|-------------|
| | | 延 数 人 | 1日平均 人 | 金 額 千円 | 1人1日平均 円 |
| 外 来 診療日数 241 日 | 本 年 度 | 9,121 | 37.8 | 141,483 | 15,512 |
| | 前 年 度 | 8,867 | 36.9 | 141,198 | 15,924 |
| | 増 減 | 254 | 0.9 | 285 | △ 412 |
| | 増減率(%) | 2.9 | 2.4 | 0.2 | △ 2.6 |

(R3診療日数 240日)

2 収入及び支出の状況

(1) 松本市立病院

ア 収益的収入及び支出の状況（消費税及び地方消費税を除く）

（単位：円）

| 区 分 | 令和4年度 決算額 | 令和3年度 決算額 | 対前年度 | | 備 考 |
|-----------------|---------------|---------------|--------------|---------------------|-----|
| | | | 増減額 | 増減率 | |
| 経常収益 | 5,473,120,359 | 5,419,436,931 | 53,683,428 | 1.0% | |
| 経常費用 | 4,998,112,521 | 4,877,894,803 | 120,217,718 | 2.5% | |
| 経常損益 | 475,007,838 | 541,542,128 | △ 66,534,290 | △12.3% | ① |
| 特別利益 | 0 | 0 | 0 | - | |
| 特別損失 | 1,571,560 | 0 | 1,571,560 | 皆増 | |
| 特別損益 | △ 1,571,560 | 0 | △ 1,571,560 | 皆減 | ② |
| 当年度純損益 | 473,436,278 | 541,542,128 | △ 68,105,850 | △12.6% | ①+② |
| 当年度未処分 利益剰余金 | 725,708,500 | 252,272,222 | 473,436,278 | 187.7% (利益剰余金の増) | |

イ 資本的収入及び支出の状況（消費税及び地方消費税を含む）

（単位：円）

| 区 分 | 令和4年度 決算額 | 令和3年度 決算額 | 対前年度 | | 備 考 |
|----------|--------------|--------------|---------------|--------|-----|
| | | | 増減額 | 増減率 | |
| 資本的収入 | 227,699,000 | 393,039,000 | △ 165,340,000 | △42.1% | |
| 資本的支出 | 490,466,208 | 588,255,994 | △ 97,789,786 | △16.6% | |
| 補てん財源使用額 | 262,767,208 | 195,216,994 | 67,550,214 | 34.6% | |

(2) 四賀の里クリニック

ア 収益的収入及び支出の状況（消費税及び地方消費税を除く）

（単位：円）

| 区 分 | 令和4年度 決算額 | 令和3年度 決算額 | 対前年度 | | 備 考 |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|---------|-----|
| | | | 増減額 | 増減率 | |
| 経常収益 | 234,036,345 | 236,494,035 | △ 2,457,690 | △1.0% | |
| 経常費用 | 237,158,747 | 223,253,089 | 13,905,658 | 6.2% | |
| 経常損益・ 当年度純損益 | △ 3,122,402 | 13,240,946 | △ 16,363,348 | △123.6% | |
| 当年度未処分 利益剰余金 | 16,865,829 | 19,988,231 | △ 3,122,402 | △15.2% | |

イ 資本的収入及び支出の状況（消費税及び地方消費税を含む）

（単位：円）

| 区 分 | 令和4年度 決算額 | 令和3年度 決算額 | 対前年度 | | 備 考 |
|----------|--------------|--------------|-------------|--------|-----|
| | | | 増減額 | 増減率 | |
| 資本的収入 | 4,500,000 | 8,570,000 | △ 4,070,000 | △47.5% | |
| 資本的支出 | 7,234,000 | 12,845,500 | △ 5,611,500 | △43.7% | |
| 補てん財源使用額 | 2,734,000 | 4,275,500 | △ 1,541,500 | △36.1% | |

| | | |
|----|-----------------|--------------------|
| 担当 | 松本市立病院 病院総務課 課長 | 豊原 広幸 (92-3027) |
| | 四賀の里クリニック 事務長 | 本木 昇 (64-2027) |

| |
|-------------|
| 庁議資料 |
| 5. 6. 27 |
| 健康福祉部・文化観光部 |

(報告事項)

健康づくりとスポーツ振興に関する連携協定について

1 趣旨

市民の健康増進の実現を目的に、大塚製薬株式会社と連携協定を締結し、健康づくり事業およびスポーツ振興事業において、連携、協力して取り組むことについて報告するものです。

2 経過

- 5. 4. 27 大塚製薬株式会社と健康づくりとスポーツ振興協定について協議
- 6. 1 3 大塚製薬株式会社と基本合意

3 連携事項

- (1) 健康の維持、増進に関すること。
- (2) 熱中症対策に関すること。
- (3) スポーツの振興に関すること。
- (4) フレイル予防に関すること。
- (5) その他協定の目的の達成に資すること。

4 令和5年度の具体的な連携内容(別紙)

- (1) 健康の維持、増進に関すること。
 - ア 地域住民に対する健康講座の講師派遣
 - イ 松本ヘルス・ラボ会員に対する情報提供
- (2) 熱中症対策に関すること。
 - 通いの場のリーダーに熱中症対策講演会の講師派遣
- (3) スポーツの振興に関すること。
 - ア イベント事業との連携
 - イ スポーツ交流事業との連携
 - ウ 健康教室等での熱中症対策の啓発
- (4) フレイル予防に関すること。
 - 薬剤師会会員向けのフレイル予防講演会の主催

5 今後の予定

7月4日(火) 11時から締結式を開催します。

| |
|---|
| 担当 健康づくり課 課課長 横内 忍 (内線 2394) スポーツ事業推進課 課長 山本 茂 (内線 6220) |
|---|

大塚製薬との連携協定 -健康づくり事業に関すること-

| | | |
|---|----------------|--|
| 1 | 健康の維持、増進に関する連携 | <p>【健康づくり推進員等、地域住民対象の健康講座の実施】</p> <p>(1) 対象:健康づくり推進員会5地区・(一財)松本ヘルス・ラボの会員</p> <p>(2) 連携内容:健康講座の講師派遣とサンプル提供 フレイル予防・熱中症対策と水分補給・体調管理と免疫力・食事と栄養・女性の健康等の講座</p> |
| 2 | 健康の維持、増進に関する連携 | <p>【松本ヘルス・ラボ会員への健康づくりに関する情報提供の実施】</p> <p>(1) 対象:(一財)松本ヘルス・ラボ会員</p> <p>(2) 連携内容:健康情報の提供・発信(アプリ) 免疫機能の維持向上、プレコンセプションケア、熱中症予防など、予防・健康づくりに関する情報</p> |
| 3 | 熱中症対策に関する連携 | <p>【通いの場へのリーダーへの熱中症対策講座】</p> <p>(1) 対象:いきいき百歳体操サークル代表者</p> <p>(2) 連携内容:熱中症予防講座の講師派遣・サンプル提供</p> |
| 4 | フレイル予防に関する連携 | <p>【松本薬剤師会第299回生涯教育講座の実施】</p> <p>(1) 対象:松本薬剤師会会員</p> <p>(2) 連携内容:フレイルに関する講座の主催</p> |

大塚製薬との連携協定 -スポーツ振興に関すること-

| | | | |
|---|-----------------|---|---|
| 1 | イベント事業との連携 | <p>【第21回松本クロスカントリー大会】</p> <p>(1) 開催日 12月3日(日) 予定</p> <p>(2) 参加者数 約1000人 小学生の部(男女別1・2年、3・4年、5・6年の部) 中学生の部(男女別) 高校の部(男女別) 一般の部(男女別)</p> <p>(3) 連携内容 参加者への飲料等の配布</p> |  |
| 2 | | <p>【第1回松本ローズカップ(高校女子野球大会)の開催】</p> <p>女子野球の普及と地域活性化を目的に、女子野球タウン松本として、全国から高校女子硬式野球チームが集結し、大会が開催されるもの</p> <p>(1) 開催日 9月30日(土)～10月1日(日)</p> <p>(2) 開催場所 信州グリーンローズスタジアム四賀</p> <p>(3) 参加チーム 全国7地域リーグの代表校又は選抜チーム及び松本国際高校(開催地枠) 約300人</p> <p>(4) 連携内容 飲料等の提供及び熱中症対策の啓発活動</p> | |
| 3 | スポーツ交流事業との連携 | <p>【日中友好都市中学生卓球交流大会松本交流大会】</p> <p>日中平和友好条約締結45周年及び長野県と河北省友好提携40周年を記念して、河北省及び県内各市が友好提携している中国各都市から中学生卓球選手団を招き、中学生同士の卓球交流大会を開催。</p> <p>(1) 開催日 8月19日(土)</p> <p>(2) 開催場所 松本市総合体育館メインアリーナ</p> <p>(3) 参加者 廊坊市男女選手2名、役員2名 計4名 松本市代表選手2名 市内中学校の卓球部に所属する中学生 約100人</p> <p>(4) 連携内容 参加者への飲料等提供及び熱中症対策の啓発活動</p> | |
| 4 | 健康教室等での熱中症対策の啓発 | <p>健康教室等で参加者に熱中症対策の啓発用パンフレット配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操教室 ・ちょこっと運動タイム ・シニア健康教室 ・パラ☆スポくらぶ、パラスポーツ体験会 | |

松本市と大塚製薬株式会社との
健康づくりとスポーツ振興の連携協定(案)

松本市(以下「甲」という。)と大塚製薬株式会社(以下「乙」という。)は、相互の連携協力に関して、次のとおり協定(以下「本協定」という。)を締結する。

(目的)

第1条 本協定は、甲及び乙が、相互に密接に連携を図り、双方が有する情報やネットワークなどの知的・人的資源を協働で活用しながら、健康づくりの推進事業およびスポーツ振興事業において、連携・協力して取り組むことにより、市民の健康増進の実現を目的とする。

(連携事項)

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携し協力する。

- (1) 健康の維持・増進に関すること
 - (2) 熱中症対策に関すること
 - (3) スポーツの振興に関すること
 - (4) フレイル予防に関すること
 - (5) その他本協定の目的の達成に資すること
- 2 甲及び乙は、前項各号に定める事項を効果的に推進するため、必要に応じ協議を行うものとする。また、連携事業を具体的に実施するにあたっては、甲乙協議の上その内容を別途定めるものとする。

(協定の見直し)

第3条 甲又は乙のいずれかが、本協定の内容の変更又は本協定の解除を申し出たときは、その都度協議の上、必要な変更又は解除を行うことができるものとする。

(秘密保持)

第4条 甲及び乙は、本協定の履行に際し知り得た相手方の秘密情報を、相手方の事前の書面による同意なしに第三者に開示し、もしくは漏洩し、又は本協定の履行以外の他の目的に利用してはならない。

2 甲及び乙は、本協定が理由の如何を問わず終了した後も、前項に規定する義務を負う。

(期間)

第5条 本協定の有効期間は、本協定締結の日から1年間とする。ただし、本協定の有効期間満了の1ヶ月前までに、甲又は乙から書面による申し出がなされないときは、その有効期間を1年間延長するものとし、以後も同様とする。

(その他)

第6条 本協定に定めのない事項又は本協定の内容に疑義が生じた場合は、甲及び乙はその都度誠意を持って協議し、決定する。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ署名の上、各1通を保有する。

令和5年 月 日

甲 長野県松本市丸の内3番7号
松本市長

乙 埼玉県上尾市瓦葺929番地1
大塚製薬株式会社
ニュートラシューティカルズ事業部
大宮支店 支店長

| |
|----------|
| 庁 議 資 料 |
| 5. 6. 27 |
| 建 設 部 |

(報告事項)

松本市アルプス公園魅力向上検討会議からの提言について

1 趣旨

松本市アルプス公園魅力向上検討会議（以下「検討会議」という。）から未整備地の活用方針を主軸に、アルプス公園全体の更なる魅力向上を図るための提言書が、市長に提出されましたので、その内容について報告するものです。

2 経過

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 4. 10. 25 | 第1回検討会議 |
| 11. 25 | 第2回検討会議 |
| 5. 1. 15 | 検討会議がまつもと子ども未来委員会でワークショップを開催 |
| 22 | 第3回検討会議（市民参加のワークショップ） |
| 30 | 検討会議がアルプス公園利用者団体懇談会を開催 |
| 2. 16 | 第4回検討会議 |
| 3. 9 | 建設環境委員協議会において取組状況を報告 |
| 25 | 第5回検討会議 |
| 4. 29 | 検討会議がアルプス公園の未来を語ろう会を開催 |
| 5. 24 | 第6回検討会議 |
| 6. 26 | 検討会議が市長へ提言書を提出 |

3 提言の概要

アルプス公園の特性、果たしている機能、求められている役割等を整理したうえで、今後の整備・利活用の方向性が提言されました。

(1) 特性

市街地から近い位置に「子どもが自由に遊ぶことができる広大な敷地」、「アルプスと松本平を一望できる景観」、「豊かな生態系を有する自然」が共存し、かつ無料で利用することができる、日本の中でも稀有な、松本が持つ都市の魅力が凝縮された総合公園です。

(2) 果たしている機能

開設から約50年の間、様々な人のライフスタイルや価値観を包摂し、多様な選択肢を提供するとともに、市民一人ひとりの豊かな生活を支えるプラットフォーム（土台）であり続けています。

(3) 求められている役割

ア 大きな方向性

居心地が良く誰もが快適に過ごせるオープンスペースとしての空間

イ 具体的な3つの方向性

(ア) 子どもを中心とした遊び・体験・交流の場となる公園

(イ) 豊かな生活を支える場となる公園

(ウ) 生物多様性が保全された体験・学びの場となる公園

- (4) 南側開園部のエリア別の整備と利活用
別紙1のとおり（提言書からの抜粋）
- (5) 未整備地と展望広場解体後の利活用
別紙2のとおり（提言書からの抜粋）

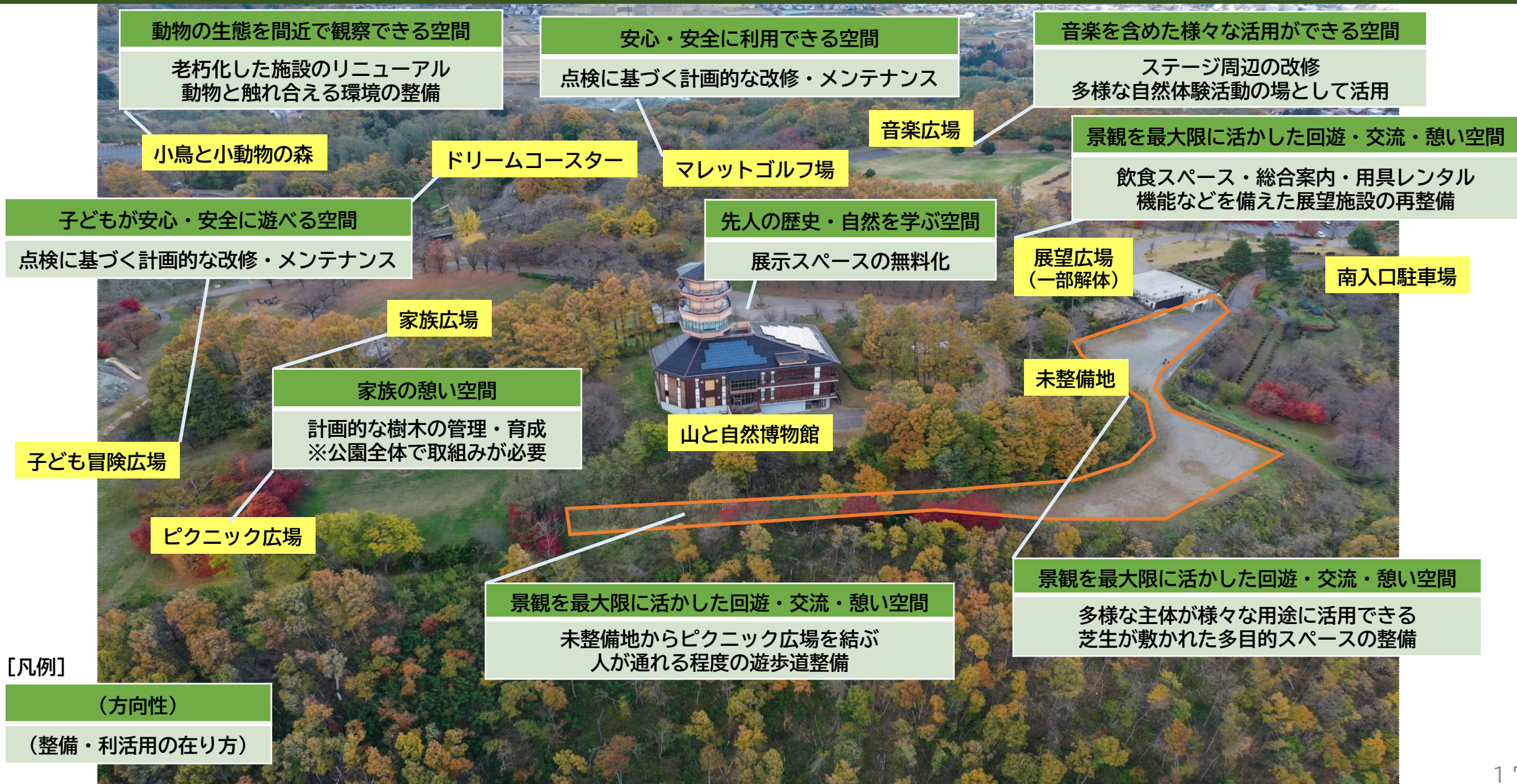
4 提言書
別冊のとおり

5 今後の進め方

- (1) 提言書の内容を踏まえ、今後の整備・利活用に関する取組みを検討します。
- (2) 次期開催の建設環境委員協議会に報告します。

| |
|---------------------------------|
| 担 当 公園緑地課 課 長 布山 明彦（内線 3270） |
|---------------------------------|

8 南側開園部のエリア別の整備と利活用について



9 未整備地と展望広場解体後の利活用について

- 未整備地と展望広場解体後の利活用については、「方向性と整備・利活用の在り方」に沿って、エリア全体を一つの「エントランスエリア」として捉えた空間デザインが必要です。

| 方向性 | 整備・利活用の在り方 | デザインするうえで検討が必要なもの |
|-----------------------|---|--|
| 景観を最大限に活かした回遊・交流・憩い空間 | ▶ 飲食スペース・総合案内・用具レンタル機能などを備えた展望施設の再整備 | ・ 展望施設の再整備レイアウト 展望広場解体跡地から北側の遊具敷地を軸にした配置の検討 |
| | | ・ 飲食スペースに持たせる機能 運営主体、設備、維持管理や採算性の検討（事業者への調査など） |
| | | ・ 公園全体の総合案内機能 施設、自然環境、イベント情報を得られる総合案内所機能の検討 |
| | ▶ 多様な主体が様々な用途に活用できる芝生が敷かれた多目的スペースの整備 ▶ 未整備地からピクニック広場を結ぶ人が通れる程度の遊歩道整備 | ・ ワークスペースなどを含めた利用形態と用途に即した通信環境の検討 |
| | | ・ アルプス公園に適した芝生や遊歩道周辺の植栽の選定 専門家の助言に基づく選定、学校や市民参加による整備手法の検討 |
| | | ・ 使用されていないコテージ（2棟）の取扱い コテージの撤去も視野に景観を最大限に活かしたスペース活用の検討 |
| | | ・ 泉小太郎のしだれ桜、デーラボッチなどの歴史に触れる仕掛けづくり |

- ◆ 土砂災害警戒区域等を十分に考慮したうえで、地形改変を伴わない整備とする必要があります。
- ◆ 夜間の公園利用に際しては、公園管理者は自然環境にできる限り配慮するとともに、利用者に節度と秩序を持った利用を促す必要があります。併せて、都市公園条例を遵守しつつ、市民がお互いに利用のモラルを引き上げる、公園利用の行動基準・指針などの導入を検討する必要があります。

松本市アルプス公園魅力向上検討会議

～アルプス公園の目指すべき姿について～

提言書

令和5年6月26日

目次

| | | |
|---|---------------------------------|--------|
| 1 | 松本市アルプス公園魅力向上検討会議について | P 1 ~ |
| 2 | アルプス公園の整備経過 | P 5 |
| 3 | アルプス公園の特性と機能 | P 6 ~ |
| 4 | アルプス公園に求められている役割 | P 10 ~ |
| 5 | アルプス公園全体の課題とその対応 | P 12 ~ |
| 6 | 開設から約50年が経過した南側開園部の課題 | P 14 ~ |
| 7 | 南側開園部の整備と利活用に関する考え方 | P 16 |
| 8 | 南側開園部のエリア別の整備と利活用について | P 17 |
| 9 | 未整備地と展望広場解体後の利活用について | P 18 |
| | [資料編] | P 19 ~ |

1 松本市アルプス公園魅力向上検討会議について

(1) 概要

旧まきば山荘跡地である未整備地の活用方針を主軸に、公園全体の更なる魅力向上を図る方向性をとりまとめ、市長に提言を行うために設置された市民会議です。

(2) 検討内容

- ① 未整備地の利活用
- ② 展望広場解体後の利活用
- ③ 公園南側の玄関口に当たる一帯の利活用
- ④ 公園全体の更なる魅力向上を図る方向性



1 松本市アルプス公園魅力向上検討会議について

(3) 検討会議委員

| No. | 役職 | 氏名 | 所属等 | 備考 |
|-----|------|--------|---------------------------------|------------------------|
| 1 | 座長 | 原 薫 | 一般社団法人 ソマミチ 代表理事 | 自然・環境分野に詳しく、施設管理・運営に精通 |
| 2 | 座長代理 | 市川 荘一 | 前松本市教育委員会教育長職務代理者 前TOYBOX相談役 | |
| 3 | 委員 | 梅津 雅彦 | 城北地区蟻ヶ崎台町会 町会長 | 地元町会代表者 |
| 4 | 委員 | 小川原 浄 | 白板地区放光寺町会 顧問 | 地元町会代表者 |
| 5 | 委員 | 高山 光弘 | 日本ビオトープ管理士会 会長 | アルプス公園自然活用実行会議委員 |
| 6 | 委員 | 深澤 久雄 | アルプス公園を愛する市民の会 | 請願団体代表者 |
| 7 | 委員 | 林 幸一 | 松本アウトドアプロジェクト | 請願団体代表者 |
| 8 | 委員 | 田力 淳子 | ガールスカウト長野県連盟 | こども・教育関係者 |
| 9 | 委員 | 須澤 加奈子 | 元松本市保育園保護者会連盟 会長 | こども・教育関係者 |
| 10 | 委員 | 佐藤 匠馬 | 信州大学経法学部 | 若手・自然活用施策提案者 |

1 松本市アルプス公園魅力向上検討会議について

(4) 開催経過

| 会議等 | 開催日・会場 | 出席委員 | 内容 |
|----------|-------------------------|------|---|
| 第1回 | R4.10.25 アルプス公園内 | 10名 | ・現地確認、経過説明、検討会議の今後の進め方を意見交換 |
| 第2回 | R4.11.25 松本市役所本庁舎 | 10名 | ・検討を深めるための情報を共有 ・公園南側の玄関口に当たる一帯の利活用の在り方を検討（ワークショップ） ・市民参加のワークショップの開催手法及び内容を検討 |
| ワークショップ | R5.1.15 松本市勤労者福祉センター | 1名 | ・まつもと子ども未来委員会においてワークショップを開催 小学生：10名、中学生：11名、高校生：2名 ⇒合計23名が参加 |
| 第3回 | R5.1.22 あがたの森文化会館 | 4名 | ・市民参加の「アルプス公園魅力向上ワークショップ」を開催 高校生：2名、大学生：4名、20代・30代：4名 PTA役員：4名、地元住民：4名、地元事業者：4名 ⇒合計22名が参加 |
| 利用者団体懇談会 | R5.1.30 アルプス公園内 | 2名 | ・アルプス公園利用者団体との懇談会を開催 アルプス公園マレットクラブ、フリマネット信州、株式会社未来図、ヤマユリの会、信州野鳥の会の合計6団体と懇談 |
| 第4回 | R5.2.16 松本市勤労者福祉センター | 10名 | ・3つのワークショップ及びアルプス公園利用者団体懇談会の結果を共有 ・アルプス公園自然活用実行会議の検討状況を共有 ・未整備地を含む公園南側の玄関口に当たる一帯の利活用の在り方を検討 |

1 松本市アルプス公園魅力向上検討会議について

| 会議等 | 開催日・会場 | 出席委員 | 内容 |
|----------------|--------------------|------|--|
| 第5回 | R5.3.25 松本市勤労会館 | 10名 | <ul style="list-style-type: none">・アルプス公園の目指すべき姿（骨子案）について・市民への検討状況報告会について |
| アルプス公園の未来を語ろう会 | R5.4.29 アルプス公園内 | 3名 | <ul style="list-style-type: none">・検討状況を発表し意見交換する「アルプス公園の未来を語ろう会」を開催報告・発表、意見交換、現地見学を実施合計27名が参加 |
| 第6回 | R5.5.24 大手公民館 | 9名 | <ul style="list-style-type: none">・アルプス公園の目指すべき姿（案）について・提言日程等について |



まつもと子ども未来委員会
(R5.1.15)



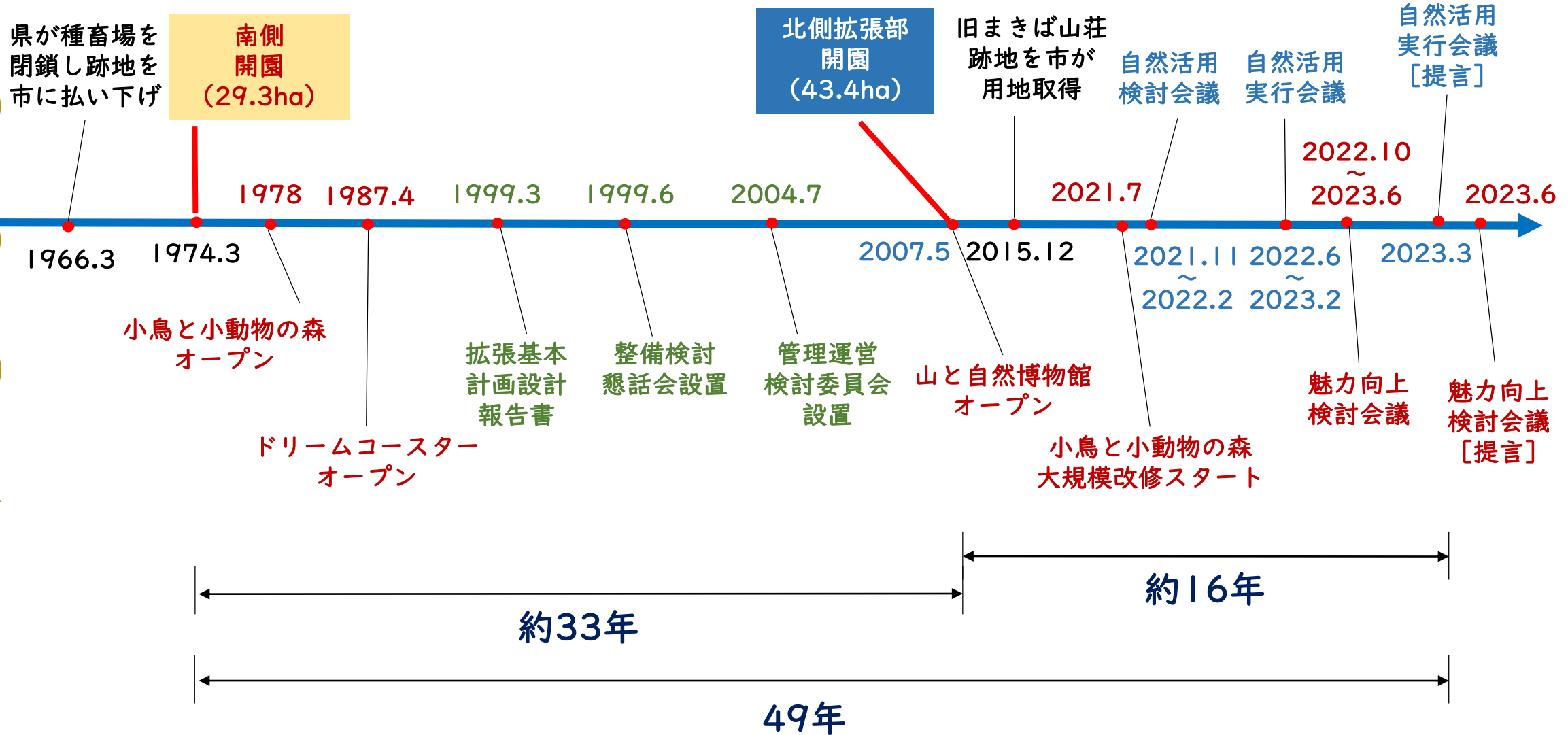
アルプス公園魅力向上ワークショップ
(R5.1.22)



アルプス公園の未来を語ろう会
(R5.4.29)

2 アルプス公園の整備経過

暮らしと密接に関連した里山



3 アルプス公園の特性と機能

(1) 都市公園法上の位置づけ

| 種類 | 種別 | 内容 | | | 主な公園 |
|--------|------|--------------------------------------|------|---------|--------------------------|
| | | 利用想定 | 誘致距離 | 標準規模 | |
| 住区基幹公園 | 街区公園 | 街区に居住する人 | 250m | 0.25ha | 蟻ヶ崎公園 など |
| | 近隣公園 | 近隣に居住する人 | 500m | 2ha | 庄内公園 など |
| | 地区公園 | 徒歩圏内に居住する人 | 1km | 4ha | あがたの森公園 など |
| 都市基幹公園 | 総合公園 | 都市住民全般の 休息、鑑賞、散歩、遊戯 運動等総合的な利用 | なし | 10~50ha | 松本城公園 アルプス公園 |
| 大規模公園 | 広域公園 | 市町村の区域を超える 広域のレクリエーション 需要を充足する | なし | 50ha以上 | 長野県松本平広域公園 (信州スカイパーク) |
| | 国営公園 | 都府県の区域を超える 広域的な利用 | なし | 300ha以上 | 国営アルプスあづみの公園 |

(2) 公園規模と位置環境

- アルプス公園の面積は約73haであり、総合公園の標準規模を大きく上回る公園です。
- 一方で、松本市内には長野県の広域公園があり、隣接の安曇野市には国営公園があることから、アルプス公園の特性を活かした公園づくりが求められています。

3 アルプス公園の特性と機能

◆ ワークショップ、利用者団体懇談会で出された意見から見えてきた方向性

(3) アルプス公園の特性

市街地から近い位置に「子どもが自由に遊ぶことができる広大な敷地」、「アルプスと松本平を一望できる景観」、「豊かな生態系を有する自然」が共存し、かつ無料で利用することができる、日本の中でも稀有な、松本が持つ都市の魅力が凝縮された総合公園です。

(4) アルプス公園が果たしている機能

開設から約50年の間、様々な人のライフスタイルや価値観を包摂（※）し、多様な選択肢を提供するとともに、市民一人ひとりの豊かな生活を支えるプラットフォーム（土台）であり続けています。

（※）包摂とは、「一定の範囲の中に包み込むこと」という意味。

3 アルプス公園の特性と機能

(5) なぜ多くの市民のプラットフォーム（土台）たりえたのか ①

昭和49年開設の南側開園部は、「時代の要請に対応した施設型公園整備」を行うエリアとされ、これまで順次、施設の整備・充実が図られてきました。

併せて、平成19年開設の“いきものふれあいの森（北側拡張部）”は、「自然環境を重視した自然活用型公園整備」が行われた結果、同一公園内に2つの異なる要素が共存することとなり、更には両輪となることで、多様な市民ニーズを受け入れる公園として、多くの人に利用されてきました。

南側開園部

- S 4 9 開設（子ども冒険広場など）
- S 5 3 小鳥と小動物の森を整備
- S 6 2 ドリームコースターを整備
- H 1 9 山と自然博物館を整備
- H 3 0 展望広場を整備
- R 3 ~ 小鳥と小動物の森の大規模改修

共存・両輪



いきものふれあいの森 （北側拡張部）

- H 1 9 開設（森の入口広場など）
- R 3 自然活用検討会議を設置・提言
- R 4 自然活用実行会議を設置・提言

3 アルプス公園の特性と機能

(6) なぜ多くの市民のプラットフォーム（土台）たりえたのか ②

アルプス公園は、都市公園に求められる多くの機能を複合的に有していることから、多くの市民に利用されてきました。

《アルプス公園が有する6つのプラットフォーム機能》

- ① コミュニティ形成 地元町会、ボランティアなどによる清掃活動
様々な利用者団体やイベント運営団体 など
- ② 健康増進 ウォーキング、景色を眺めて心を休める など
- ③ こども・子育て支援 こどもが安心・安全な環境の中で外遊びできる
子育て中の親にとっての気分転換 など
- ④ 自然環境の保全・利活用 身近に自然と触れ合える、体験学習
野鳥や希少植物などの基礎データ蓄積 など
- ⑤ 地域経済の活性化 来園者への飲食サービスの提供 など
- ⑥ 歴史・文化の継承 山と自然博物館 など

4 アルプス公園に求められている役割

(1) アルプス公園に求められている役割 [大きな方向性]

- 現在、アルプス公園は、多くの人に、年齢や属性を超え、多様な目的の下に利用されていますが、それは、アルプス公園が有する「特性」と「果たしている機能」によるものであり、それは、これから先も変わることのないもの、変えてはいけないものと考えます。
- その上で、多くの市民がアルプス公園に求めているものがあると考えます。
- それは公園としての居心地の良さであり、「居心地が良く誰もが快適に過ごせるオープンスペースとしての空間」です。
多くの人に愛され、利用される「アルプス公園の居心地の良さ」は、公園という空間を超えて「松本の居心地の良さ」に繋がるものと考えます。

アルプス公園の
居心地の良さ



松本の
居心地の良さ

4 アルプス公園に求められている役割

(2) アルプス公園に求められている役割 [具体的な3つの方向性]

「居心地が良く誰もが快適に過ごせるオープンスペースとしての空間」という大きな方向性のもと、「アルプス公園の特性」を活かした公園づくりが求められています。

① 子どもを中心とした遊び・体験・交流の場となる公園

「子どもが自由に遊ぶことができる広大な敷地」を活かし、幼少期から自然に触れる体験の機会のある場や安全が確保されたフィールド整備を進めることで、今以上に、子どもを中心としたリアルな体験や、多様な人が出会い・交流する場となることが求められています。

② 豊かな生活を支える場となる公園

「アルプスと松本平を一望できる景観」を活かし、景観を最大限に活用した空間整備を進めることで、自宅や職場に次ぐ、居心地の良い第3の居場所（サードプレイス）として、今以上に、市民の豊かな生活を支える場となることが求められています。

③ 生物多様性が保全された体験・学びの場となる公園

市街地に近い「豊かな生態系を有する自然」を活かし、公園としての計画的な管理育成のもと、かつての里山のように人と動物と自然とが密接に関わる環境づくりを進めることで、今以上に、生物多様性が保全された体験・学びの場となることが求められています。

5 アルプス公園全体の課題とその対応

◆ 多くの人に利用されている公園ですが、開設から約50年が経過し、課題も見えてきています。

(1) 施設や設備の老朽化が進んだり、公園全体で約73haという広大な敷地面積を有しているため、公園の管理がむずかしくなっています。

「公園としての居心地の良さ」を創り出すためには、誰もが安心・安全に公園を利用できる環境整備が重要です。老朽化した施設を改修するとともに、市民や各分野の専門家が参加する管理運営体制を構築するなど、**将来を見据えた公園の再生・リフォームが必要です。**

- 公園の利活用状況の点検と点検結果を踏まえた公園再生
- 公園サポーター・公園ボランティアによる市民参加型の公園づくり(*)
- 野鳥、昆虫、植物、ビオトープ、里山、環境教育などの専門家による管理運営体制の構築(*)
- 公園づくりへの小中学校や保育園・幼稚園などの積極的な参加

(2) 公園までは車がないと行きにくく、園内は広く高低差があるため、移動が大変です。

「豊かな生活を支える場」とするためには、誰もが公園にアクセスできる環境整備が重要です。**車がなくとも来園できる交通環境や園内における移動手段の検討が必要です。**

- バス増便などの公共交通の充実
- 対象者や維持管理、自然環境への影響も含めた、園内の移動手段に関する多角的な検討(*)

(*) 「松本市アルプス公園自然活用実行会議」が“いきものふれあいの森（北側拡張部）”を対象に提言した内容です。

5 アルプス公園全体の課題とその対応

(3) 多くの人々が利用する公園であるため、日常的な関わりの中で、自然への深い理解が進む取り組みがあるといい。

「生物多様性が保全された体験・学びの場」とするためには、アルプス公園が自然の空間であることを意識して利用することが重要です。

都市公園条例を遵守しつつも、行動を規制するのではなく、市民がお互いに公園利用のモラルを引き上げる、アルプス公園独自の取り組みについて検討が必要です。あわせて、かつての里山のように、身近な自然との日常的な関わりの中で、自然への深い理解が進む取り組みが必要です。

- 人と自然との関わりを考える講座・ワークショップなどの開催
- 自然環境に配慮した公園利用の行動基準・指針などの導入検討

[参考] リーブノートレイス (Leave No Trace)

環境に与えるインパクトを最小限にして、自然体験を楽しむための行動基準（7つの原則）で、世界の多くの国で認知・実践されています。

6 開設から約50年が経過した南側開園部の課題

(1) 未整備地と展望広場

平成27年に松本市が用地取得した旧まきば山荘跡地が未整備のまま利活用されずに残されています。また、令和5年に展望広場が、構造物の耐震強度不足により一部を除き解体されています。



未整備地



砂利が敷かれ、臨時の駐車場として使用されています。

展望広場



構造物の傷みがひどく、地震で倒壊する危険性が高いことが分かったため、一部を除き解体されています。

6 開設から約50年が経過した南側開園部の課題

(2) 南側開園部全体

ワークショップや利用者団体懇談会などで課題として多く出された意見

- 飲食物の持参が必要で、軽食をとったり買うところがない。
- 家族と一緒に時間を過ごしたり、食事ができる日陰が少ない。
- 展望広場が解体されてしまう。 (*)
- 雨天時に使用できる施設が少ない。
- よく使われているエリアがある一方で、音楽広場などあまり使われていないエリアがある。
- 山と自然博物館がもっと利用されたい。

(*) ワークショップ、利用者団体懇談会は、展望広場解体中の令和5年1月に開催したものです。

7 南側開園部の整備・利活用に関する考え方

- 南側開園部の整備・利活用については、アルプス公園魅力向上検討会議、まつもと子ども未来委員会、市民参加のワークショップに加えて、利用者団体懇談会で出された多くのアイデアをもとに、以下の4点を踏まえ、エリア別の方向性と在り方を整理しました。

- (1) アルプス公園に求められている役割に対応したものであること
- (2) 時代の要請に対応した施設型公園整備であること
- (3) アルプス公園全体の課題とその対応に即したものであること
- (4) 南側開園部の課題を解決するものであること

8 南側開園部のエリア別の整備と利活用について



9 未整備地と展望広場解体後の利活用について

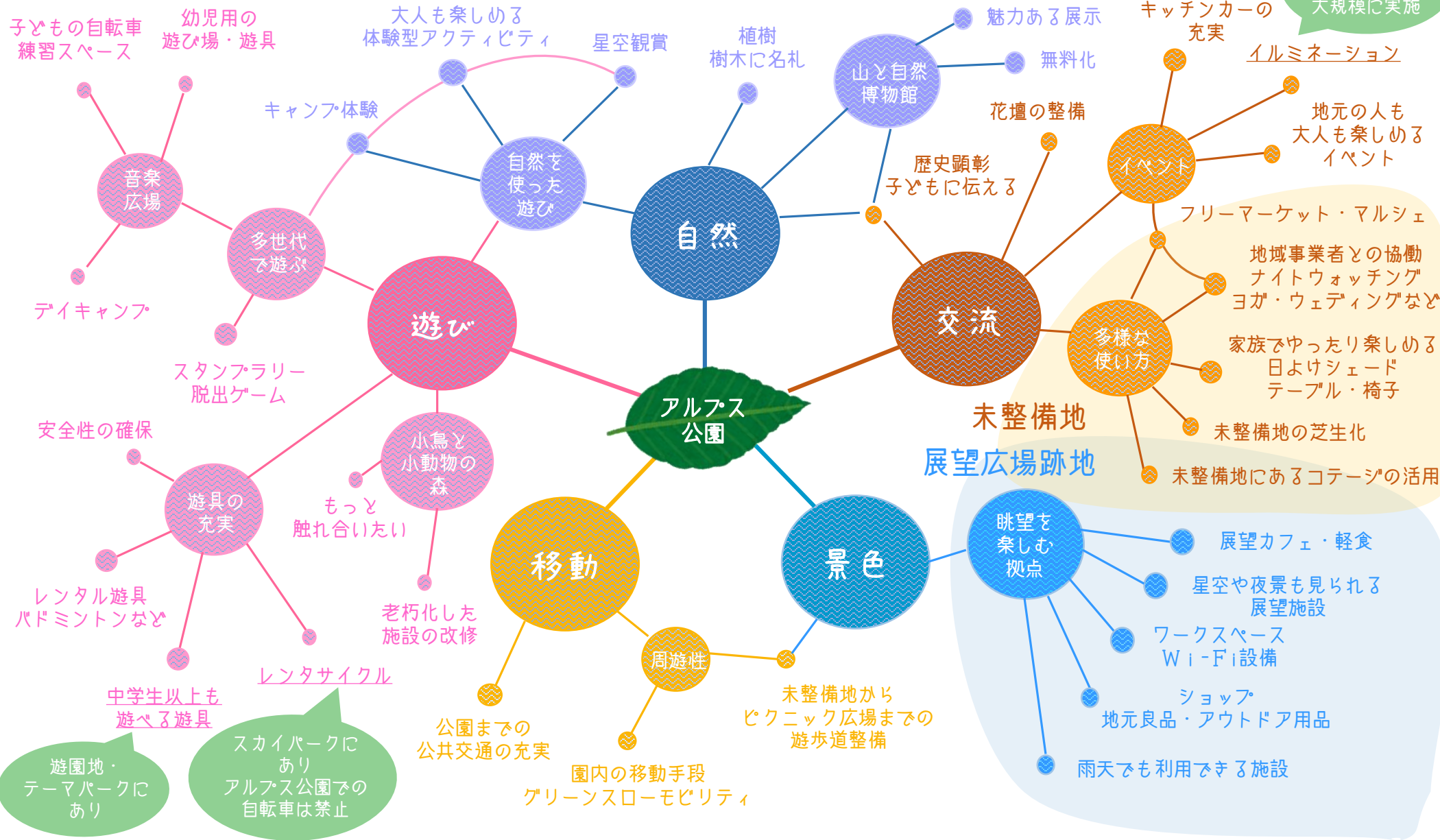
- 未整備地と展望広場解体後の利活用については、「方向性と整備・利活用の在り方」に沿って、エリア全体を一つの「エントランスエリア」として捉えた空間デザインが必要です。

| 方向性 | 整備・利活用の在り方 | デザインするうえで検討が必要なもの |
|---------------------------------|--------------------------------------|--|
| 景観を最大限に活かした回遊・交流・憩い空間 | ▶ 飲食スペース・総合案内・用具レンタル機能などを備えた展望施設の再整備 | ・ 展望施設の再整備レイアウト 展望広場解体跡地から北側の遊具敷地を軸にした配置の検討 |
| | | ・ 飲食スペースに持たせる機能 運営主体、設備、維持管理や採算性の検討（事業者への調査など） |
| | | ・ 公園全体の総合案内機能 施設、自然環境、イベント情報を得られる総合案内所機能の検討 |
| | | ・ ワークスペースなどを含めた利用形態と用途に即した通信環境の検討 |
| | ▶ 多様な主体が様々な用途に活用できる芝生が敷かれた多目的スペースの整備 | ・ アルプス公園に適した芝生や遊歩道周辺の植栽の選定 専門家の助言に基づく選定、学校や市民参加による整備手法の検討 |
| | | ・ 使用されていないコテージ（2棟）の取扱い コテージの撤去も視野に景観を最大限に活かしたスペース活用の検討 |
| ▶ 未整備地からピクニック広場を結ぶ人が通れる程度の遊歩道整備 | ・ 泉小太郎のしだれ桜、デーラボッチなどの歴史に触れる仕掛けづくり | |

- ◆ 土砂災害警戒区域等を十分に考慮したうえで、地形改変を伴わない整備とする必要があります。
- ◆ 夜間の公園利用に際しては、公園管理者は自然環境にできる限り配慮するとともに、利用者に節度と秩序を持った利用を促す必要があります。併せて、都市公園条例を遵守しつつ、市民がお互いに利用のモラルを引き上げる、公園利用の行動基準・指針などの導入を検討する必要があります。

「時代の要請に対応した施設型公園整備」エリアの南側開園部アイデアマップ ～市民ワークショップ等で出された意見をまとめました～

国営アルプス
あづみの公園で
大規模に実施



遊園地・
テーマパークに
あり

スカイパークに
あり
アルプス公園での
自転車は禁止

| 会議 | 開催日・会場 | 内容 | 資料（URL） |
|------------|-------------------------|---|---|
| 検討会議 HP | | ・議事録等 | https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/84/93000.html |
| 第1回 | R4.10.25 アルプス公園内 | ・現地確認、経過説明、検討会議の今後の進め方を意見交換 | https://www.city.matsumoto.nagano.jp/uploaded/attachment/65828.pdf |
| 第2回 | R4.11.25 松本市役所本庁舎 | ・検討を深めるための情報を共有 ・公園南側の玄関口に当たる一帯の利活用の在り方を検討（ワークショップ） ・市民参加のワークショップの開催手法及び内容を検討 | https://www.city.matsumoto.nagano.jp/uploaded/attachment/68219.pdf |
| 第3回 | R5.1.22 あがたの森文化会館 | ・市民参加の「アルプス公園魅力向上ワークショップ」を開催 | https://www.city.matsumoto.nagano.jp/uploaded/attachment/69116.pdf |
| 第4回 | R5.2.16 松本市勤労者福祉センター | ・3つのワークショップ及びアルプス公園利用者団体懇談会の結果を共有 ・アルプス公園自然活用実行会議の検討状況を共有 ・未整備地を含む公園南側の玄関口に当たる一帯の利活用の在り方を検討 | https://www.city.matsumoto.nagano.jp/uploaded/attachment/70731.pdf |
| 第5回 | R5.3.25 松本市勤労会館 | ・アルプス公園の目指すべき姿（骨子案）について ・市民への検討状況報告会について | https://www.city.matsumoto.nagano.jp/uploaded/attachment/72791.pdf |
| 第6回 | R5.5.24 大手公民館 | ・アルプス公園の目指すべき姿（案）について ・提言日程等について | https://www.city.matsumoto.nagano.jp/uploaded/attachment/75725.pdf |

| |
|----------|
| 庁 議 資 料 |
| 5. 6. 27 |
| 住民自治局 |

(報告事項)

令和4年度市長への手紙の結果について

1 趣旨

市民から幅広く意見・提言を聴き、市政に反映させることを目的に実施している「市長への手紙」の令和4年度の結果を報告するものです。

2 受付状況

(1) 提出方法別通数及び案件数

| 年度 | 3年度 | | 4年度 | | 前年度比 | | | |
|-------|---------|-----|---------|-----|-------|--------|-------|--------|
| | 通数 | 案件数 | 通数 | 案件数 | 通数 | | 案件数 | |
| 郵送 | 94 | 113 | 111 | 134 | 17 | 18 % | 21 | 19 % |
| 電子メール | 388 | 413 | 131 | 162 | △ 257 | △ 66 % | △ 251 | △ 61 % |
| 持参 | 8 | 8 | 4 | 5 | △ 4 | △ 50 % | △ 3 | △ 38 % |
| FAX | 3 | 3 | 1 | 1 | △ 2 | △ 67 % | △ 2 | △ 67 % |
| 合計 | 493 | 537 | 247 | 302 | △ 246 | △ 50 % | △ 235 | △ 44 % |
| | うち匿名34通 | | うち匿名29通 | | | | | |

※手紙の通数と案件数の相違は、一通に意見・提言が複数あるため。

(2) 差出人住所別通数及び案件数

| 年 度 | 3年度 | | 4年度 | | 前年度比 | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-------|--------|-------|--------|
| | 通数 | 案件数 | 通数 | 案件数 | 通数 | | 案件数 | |
| 松本市内 | 381 | 422 | 203 | 248 | △ 178 | △ 47 % | △ 174 | △ 41 % |
| 市外 | 112 | 115 | 44 | 54 | △ 68 | △ 61 % | △ 61 | △ 53 % |
| 合計 | 493 | 537 | 247 | 302 | △ 246 | △ 50 % | △ 235 | △ 44 % |

(3) 案件別件数

| 主な内容 | 3年度 | 4年度 | 4年度内訳 |
|-------------------------|-----|-----|-----------------------|
| | 案件数 | 案件数 | |
| 都市整備（道路・水道・公園・三の丸エリア含む） | 58 | 38 | 道路、公園、空き地・空き家、下水道等 |
| 福祉・健康・医療 | 13 | 35 | 市立病院産科、喫煙所、高齢者、障がい者等 |
| 教育・学校 | 28 | 33 | 学校、図書館、公民館、自習室等 |
| 文化・スポーツ・観光 | 39 | 29 | 観光、松本城、スケートボード、芸術館等 |
| 子育て・若者 | 39 | 28 | 保育園、子育て支援、こどもの遊び場等 |
| 職員対応（お礼・ご指摘） | 28 | 20 | お礼、ご指摘 |
| 交通・自転車 | 33 | 15 | 自転車、公共交通（市営バス）、交通マナー等 |
| コロナ | 149 | 14 | 行動制限、感染対策、ワクチン等 |
| 産業（商工業・農業） | 9 | 14 | 農業・農地、消費喚起等 |
| DX | 5 | 12 | デジタル化、キャッシュレス化 |
| 地域づくり | 7 | 11 | 地域活性化、地域調整、町会等 |
| 環境 | 13 | 10 | ゼロカーボン、ごみ、地域猫等 |
| 防災（危機管理） | 4 | 8 | 防災無線、屋外放送、災害対策等 |
| その他 | 112 | 35 | 広報、新庁舎、多様性等 |
| 合計 | 537 | 302 | |

3 処理状況

処理結果別案件数

| 年 度 内訳・割合 | 3年度 | | 4年度 | | 前年度比 | |
|-----------------|------|-------|------|-------|-------|---------|
| | 案件数 | 割合(%) | 案件数 | 割合(%) | 案件数 | |
| 要望に応じられる | 110 | 20.5% | 53 | 17.5% | △ 57 | △ 51.8% |
| 要望に応じられるが時間を要する | 44 | 8.2% | 29 | 9.6% | △ 15 | △ 34.1% |
| 現状を説明 | 171 | 31.8% | 93 | 30.8% | △ 78 | △ 45.6% |
| 要望に応じられない | 29 | 5.4% | 31 | 10.3% | 2 | 6.9% |
| その他 | 183 | 34.1% | 96 | 31.8% | △ 87 | △ 47.5% |
| 合計 | 537件 | | 302件 | | △235件 | △ 43.8% |

4 今後の取組みについて

- (1) 「市長への手紙」制度が市民に定着しており、引き続き市政に関する建設的な意見・提言などが広く寄せられる制度となるよう努めます。
- (2) 寄せられた回答内容を引き続きホームページに掲載し、より多くの市民への情報提供を図ります。

| |
|------------------------------------|
| 担当 市民相談課 課長 田多井 直美 （内線 1410） |
|------------------------------------|

(報告事項)

包括外部監査の実施について

1 趣旨

包括外部監査人から、包括外部監査契約に基づく監査実施通知書の提出を受けたため、その概要を報告するものです。

2 包括外部監査契約の概要

- (1) 契約目的 包括外部監査契約に基づく監査及び監査の結果に関する報告
- (2) 相手方 松本市中川7730番地 公認会計士 岩渕 道男
(他に外部監査人補助者5人。いずれも公認会計士)
- (3) 契約期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

3 包括外部監査の実施内容

| | 内 容 |
|---------------|---|
| 監査のテーマ | 水道事業に係る財務事務の執行と経営に関する事業の管理について |
| 主な監査対象組織 (予定) | 上下水道局 |
| 監査対象年度 | 原則として令和4年度 |
| テーマの選定理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・水道事業は、人口減少に伴う料金収入の減少、施設設備の老朽化・耐震化、専門技術者の不足等の課題があるといわれており、松本市においても、地方公営企業会計としての中長期的な経営戦略の策定を通じ、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上等に取り組んでいく必要があること。 ・電気料金等の高騰が続く中、水道事業に係るコスト負担や利用料金の設定は市民生活に直結するため、市民の関心が高いこと。 |

※ 詳細は、別紙「監査実施通知書」を参照

4 今後の予定

7月から9月の間に、監査対象組織に対する聴取、書類審査、現地確認等を実施し、令和6年2月中に監査の結果に関する報告書の提出を受けます。

| | |
|----|-----------|
| 担当 | 行政管理課 |
| 課長 | 松本 志保 |
| | (内線 1210) |



監査実施通知書

令和5年6月16日

松本市長
臥雲 義尚 様

包括外部監査人 岩 瀨 道 男

地方自治法第252条の37第1項の規定に基づき、次のとおり監査を実施するので通知します。

記

1 監査のテーマ

水道事業に係る財務事務の執行と経営に関する事業の管理について

2 主な監査対象機関

上下水道局

なお、監査対象機関については、必要に応じて追加、変更する場合があります。

3 監査対象年度

原則として令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）。ただし、必要に応じて令和3年度以前及び令和5年度の執行分を含みます。

4 監査テーマとして選定した理由

数年にわたる新型コロナウイルス感染症の感染拡大やロシアによるウクライナ侵攻の影響でエネルギー価格、電子部品や原料素材の価格の上昇の影響を受け、電力料金等は高騰している。

電気やガス、水道など市民生活を維持するのに最低限必要な設備や機能としてのライフラインの維持管理にもこの影響は及んでいる。ライフラインの中でも水道事業の多くは、地方自治体によって市民に提供されている。

水道事業は、人口減少に伴う料金収入の減少、施設設備の老朽化・耐震化や職員定数削減による専門技術者の不足等の課題があるといわれている。

市の水道事業は、地方公営企業会計として一般会計とは独立した会計単位で事業が実施されており、中長期的な視点に基づく経営戦略の策定等を通じ、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上等に取り組んでいくことも求められている。

重要なライフラインの一つである水道事業を安定的に実施することや過疎化が進行する地域が増加する中、老朽化が進んでいる上下水道設備の維持管理に係るコスト負担や利用料金の設定は、市民生活に直結することから市民の関心も高い。

このような状況に鑑み、市が実施する水道事業に係る財務事務の執行と経営に関する事業の管理を監査の対象として選定した。

5 監査期間
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

6 監査日時等
別途対象機関等に通知します。

以 上

(報告事項)

令和5年度 補助内示等の状況について

1 趣旨

建設・ソフト事業にかかる国・県の補助内示等の状況について報告するものです。

2 補助内示等の状況について

(単位:千円)

| 区分 | 件数 | 要望額 ア | 内示額 イ | 予算額 ウ | 差引 イ-ウ | 内示率 イ/ア | |
|--------------------------------------|-----|--------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------|
| 内示額が 予算額と 同額または 上回った事業 A | 合計 | 37 (44) | 1,281,969 (2,631,808) | 1,169,753 (2,617,311) | 968,772 (2,486,065) | 200,981 (131,246) | 91.2% (99.4%) |
| | 建設 | 13 (23) | 724,325 (2,192,876) | 650,573 (2,192,876) | 629,264 (2,153,045) | 21,309 (39,831) | 89.8% (100.0%) |
| | ソフト | 24 (21) | 557,644 (438,932) | 519,180 (424,435) | 339,508 (333,020) | 179,672 (91,415) | 93.1% (96.7%) |
| 内示額が 予算額を 下回った事業 B | 合計 | 33 (32) | 2,584,179 (2,726,661) | 2,084,178 (2,167,024) | 2,582,075 (2,744,132) | △ 497,897 (△ 577,108) | 80.7% (79.5%) |
| | 建設 | 19 (16) | 2,124,149 (2,350,833) | 1,750,369 (1,862,418) | 2,125,335 (2,350,767) | △ 374,966 (△ 488,349) | 82.4% (79.2%) |
| | ソフト | 14 (16) | 460,030 (375,828) | 333,809 (304,606) | 456,740 (393,365) | △ 122,931 (△ 88,759) | 72.6% (81.0%) |
| まだ内示の ない事業 C | 合計 | 9 (14) | 172,295 (154,742) | 0 (0) | 172,295 (70,520) | △ 172,295 (△ 70,520) | 0.0% (0.0%) |
| | 建設 | 2 (3) | 131,180 (57,217) | 0 (0) | 131,180 (0) | △ 131,180 (0) | 0.0% (0.0%) |
| | ソフト | 7 (11) | 41,115 (97,525) | 0 (0) | 41,115 (70,520) | △ 41,115 (△ 70,520) | 0.0% (0.0%) |
| 合計 | 合計 | 79 (90) | 4,038,443 (5,513,211) | 3,253,931 (4,784,335) | 3,723,142 (5,300,717) | △ 469,211 (△ 516,382) | 80.6% (86.8%) |
| | 建設 | 34 (42) | 2,979,654 (4,600,926) | 2,400,942 (4,055,294) | 2,885,779 (4,503,812) | △ 484,837 (△ 448,518) | 80.6% (88.1%) |
| | ソフト | 45 (48) | 1,058,789 (912,285) | 852,989 (729,041) | 837,363 (796,905) | 15,626 (△ 67,864) | 80.6% (79.9%) |

*1 建設事業は補助金額1件500万円未満を、ソフト事業は実績により補助される事業(支援費、給付費等)を除く

*2 ()内は、前年度数値

*3 予算額は6月補正予算後の見込額

*4 新型コロナウイルス感染症対策に係る事業を除く

3 今後の取組みについて

補助内示の遅れている事業や予定額を下回っている事業については、早急に国や県へ確認を行うなど積極的な情報収集に努め、補助金の確保に向け適切に対応してください。

また、財源確保の見通しが立たない事業については、9月補正予算で対応してください。

| |
|--------------------------------|
| 担当 財政課 課長 池上 浩平 (内線1340) |
|--------------------------------|

1 建設事業に係る補助内示（内報）の状況

(1) 内示額が予算額と同額又は上回った事業…A

(単位：千円)

| 所管部 | 件数 | | 要望額 ア | 内示額 イ | 予算額 ウ | 比較 イーウ | 内示率 イ/ア | 今後の対応等 | |
|-------|---|-----|-------------|----------|----------|-----------|------------|--------|---------------|
| | 事業名 | 区分 | | | | | | | 補助率 |
| 建設部 | | 9 | 539,900 | 505,524 | 484,230 | 21,294 | 93.6% | | |
| | 街路事業費（防災安全） 博労町栄町線 | 国 | 55% | 36,300 | 36,300 | 36,300 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 街路事業費（都市構造） 中条白板線（白板） | 国 | 1/2 | 77,000 | 77,000 | 77,000 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 橋りょう長寿命化事業費 （道路メンテナンス） | 国 | 55% | 122,100 | 99,624 | 96,800 | 2,824 | 81.6% | 内示額で事業実施 |
| | 橋りょう整備事業費 （地方創生推進） 市道7553号線月見橋 | 国 | 1/2 | 157,790 | 157,790 | 157,790 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 道路改良事業費 （地方創生推進） 市道5005号線 | 国 | 1/2 | 9,360 | 9,360 | 9,360 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 補助林道整備事業費 | 国・県 | 51% | 22,860 | 22,860 | 22,840 | 20 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| | 松本市公園施設長寿命化対策支援事業 | 国 | 1/2 | 15,000 | 15,000 | 15,000 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 公営住宅等ストック総合改善事業 | 国 | 1/2 | 68,690 | 64,030 | 45,580 | 18,450 | 93.2% | 9月補正で歳入歳出増額予定 |
| | 公営住宅等ストック総合改善事業 （市営住宅若者世帯向け改修事業） | 国 | 1/2 | 30,800 | 23,560 | 23,560 | 0 | 76.5% | 既決予算額で事業実施 |
| 教育委員会 | | 4 | 184,425 | 145,049 | 145,034 | 15 | 78.6% | | |
| | 国宝松本城天守防災施設整備事業 （国宝重要文化財等防災設備整備費補助金） | 国・県 | 国80% 県3% | 46,525 | 46,525 | 46,525 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 史跡松本城掘浄化対策事業 （歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業） | 国・県 | 国50% 県3% | 70,715 | 31,339 | 31,339 | 0 | 44.3% | 既決予算額で事業実施 |
| | 旧開智学校校舎防災施設整備 （建造物）（耐震対策工事）事業 | 国・県 | 国50% 県3% | 53,455 | 53,455 | 53,440 | 15 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| | 旧開智学校校舎防災施設整備 （建造物）（防災施設等）事業 | 国・県 | 国65% 県3% | 13,730 | 13,730 | 13,730 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| 合計 | | 13 | | 724,325 | 650,573 | 629,264 | 21,309 | 89.8% | |

(2) 内示額が予算額を下回った事業…B

(単位：千円)

| 所管部 | 件数 | | 要望額 ア | 内示額 イ | 予算額 ウ | 比較 イーウ | 内示率 イ/ア | 今後の対応等 | |
|-------|--|----|-----------|----------|-----------|-----------|------------|--------|------------------------|
| | 事業名 | 区分 | | | | | | | 補助率 |
| 総合戦略局 | | 2 | 95,490 | 80,897 | 95,880 | △ 14,983 | 84.7% | | |
| | 「新たな日常」の定着に向けた ケーブルテレビ光化による耐災 害性強化事業（放送ネットワーク 整備支援事業費補助金） | 国 | 1/2 | 40,425 | 40,425 | 40,880 | △ 455 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 自然環境整備支援事業 | 県 | 1/2 | 55,065 | 40,472 | 55,000 | △ 14,528 | 73.5% | 9月補正で歳入減額予定 |
| 交通部 | | 1 | 13,371 | 8,687 | 10,560 | △ 1,873 | 65.0% | | |
| | 防災・安全交付金＜道路局＞ 市道1223号線他 | 国 | 55% | 13,371 | 8,687 | 10,560 | △ 1,873 | 65.0% | 内示額で事業実施 必要に応じて追加要望 |
| 建設部 | | 9 | 1,099,220 | 755,881 | 1,095,730 | △ 339,849 | 68.8% | | |
| | 街路事業費（防災安全） 出川浅間線 | 国 | 55% | 213,400 | 85,195 | 138,600 | △ 53,405 | 39.9% | 内示額で事業実施 必要に応じて追加要望 |

| 所管部 | 件数 | | 要望額 ア | 内示額 イ | 予算額 ウ | 比較 イーウ | 内示率 イ/ア | 今後の対応等 |
|---|-----|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|--------------------------------------|
| | 事業名 | 区分 | | | | | | |
| 街路事業費（防災安全） 小池平田線 | 国 | 55% | 176,935 | 89,980 | 176,900 | △ 86,920 | 50.9% | 内示額で事業実施 必要に応じて追加 要望 |
| 松本城周辺整備事業費 （都市構造） 内環状北線 | 国 | 1/2 | 9,000 | 12,000 | 14,000 | △ 2,000 | 133.3% | 内示額で事業実施 |
| 街路事業費（都市構造） 2518号線 | 国 | 1/2 | 22,000 | 19,000 | 89,100 | △ 70,100 | 86.4% | R4 交付決定済みの 交付金を充当し、既 決予算額で事業実施 |
| 村井駅周辺整備事業費 （都市構造） 村井駅周辺地区 | 国 | 1/2 | 465,650 | 372,500 | 465,650 | △ 93,150 | 80.0% | 債務負担のため、 既決予算額で事業 実施し、追加要望 |
| 道路改良事業費（防災安全） 市道2181号線 | 国 | 55% | 68,420 | 44,473 | 68,420 | △ 23,947 | 65.0% | 内示額で事業実施 必要に応じて追加 要望 |
| 雨水渠改良事業 | 国 | 1/2 | 57,300 | 57,200 | 57,300 | △ 100 | 99.8% | 内示額で事業実施 必要に応じて追加 要望 |
| 地方創生道整備推進交付金 市道8003号線 | 国 | 1/2 | 44,440 | 44,440 | 44,500 | △ 60 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| 道路メンテナンス事業 （道路構造物定期点検事業） | 国 | 55% | 42,075 | 31,093 | 41,260 | △ 10,167 | 73.9% | 内示額で事業実施 必要に応じて追加 要望 |
| 上下水道局 | 3 | | 819,550 | 817,950 | 820,905 | △ 2,955 | 99.8% | |
| 社会資本整備総合交付金 | 国 | 1/2 | 77,500 | 77,500 | 78,855 | △ 1,355 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| 防災・安全交付金 | 国 | 50% ・ 55% | 417,850 | 416,700 | 417,850 | △ 1,150 | 99.7% | 内示額で事業実施 |
| 丸の内・南深志排水区大規模雨 水処理施設整備事業 | 国 | 1/2 | 324,200 | 323,750 | 324,200 | △ 450 | 99.9% | 内示額で事業実施 |
| 教育委員会 | 4 | | 96,518 | 86,954 | 102,260 | △ 15,306 | 90.1% | |
| 旧松本高等学校本館及び講堂防 災施設整備（建造物）（耐震対策 工事）事業 | 国・県 | 国50% 県3% | 45,208 | 45,208 | 49,876 | △ 4,668 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| 重要文化財建造物旧松本高等学 校美観向上整備事業 | 国・県 | 国50% 県3% | 11,889 | 11,889 | 11,984 | △ 95 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| 特別天然記念物白骨温泉の噴湯 丘と球状石灰石保存整備事業 （歴史生き生き！史跡等総合活用 整備事業） | 国・県 | 国50% 県3% | 9,672 | 9,672 | 10,650 | △ 978 | 100.0% | 既決予算で事業実 施 不足分は追加要望 |
| 史跡松本城太鼓門耐震対策事業 （国宝重要文化財等防災設備整備 費補助金） | 国・県 | 国50% 県3% | 29,749 | 20,185 | 29,750 | △ 9,565 | 67.9% | 内示額で事業実施 必要に応じて追加 要望 |
| 合計 | 19 | | 2,124,149 | 1,750,369 | 2,125,335 | △ 374,966 | 82.4% | |

(3) まだ内示のない事業…C

(単位：千円)

| 所管部 | 件数 | | 要望額 ア | 内示額 イ | 予算額 ウ | 比較 イーウ | 内示率 イ/ア | 今後の対応等 |
|-----------------------------|-----|-----|----------|----------|----------|-----------|------------|--------|
| | 事業名 | 区分 | | | | | | |
| 産業振興部 | 1 | | 72,750 | 0 | 72,750 | △ 72,750 | 0.0% | |
| 令和3年度発生耕地災害復旧事 業費補助金（施設） | 国 | 97% | 72,750 | | 72,750 | △ 72,750 | 0.0% | 内示時期未定 |
| 教育委員会 | 1 | | 58,430 | 0 | 58,430 | △ 58,430 | 0.0% | |
| 松本城南・西外堀復元事業 （史跡等購入費補助金） | 国 | 80% | 58,430 | | 58,430 | △ 58,430 | 0.0% | 内示時期未定 |
| 合計 | 2 | | 131,180 | 0 | 131,180 | △ 131,180 | 0.0% | |

2 ソフト事業に係る補助内示（内報）の状況

(1) 内示額が予算額と同額又は上回った事業…A

(単位：千円)

| 所管部 | 件数 | | 要望額 ア | 内示額 イ | 予算額 ウ | 比較 イーウ | 内示率 イ/ア | 今後の対応等 | |
|----------|---|-----|------------------------------|----------|----------|-----------|------------|--------|-----------------------------|
| | 事業名 | 区分 | | | | | | | 補助率 |
| 総合戦略局 | 4 | | 170,304 | 164,847 | 50,440 | 114,407 | 96.8% | | |
| | デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） （総合戦略局3件、住民自治局1件、環境エネルギー部1件、産業振興部1件、文化観光部4件 計10件） | 国 | 1/2 | 71,840 | 66,383 | 39,030 | 27,353 | 92.4% | 歳出予算の範囲で事業実施 9月補正で歳入増額予定 |
| | デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ） （総合戦略局3件、交通部2件、教育委員会1件、計6件） | 国 | 1/2 | 74,330 | 74,330 | 11,410 | 62,920 | 100.0% | 歳出予算の範囲で事業実施 9月補正で歳入増額予定 |
| | デジタル基盤改革支援補助金 | 国 | 10/10 | 23,680 | 23,680 | | 23,680 | 100.0% | 内示額で事業実施 9月補正で歳入歳出増額予定 |
| | 国民のデジタルリテラシー向上事業（情報通信技術講習事業費補助金） | 国 | 10/10 | 454 | 454 | | 454 | 100.0% | 9月補正で要求 |
| 住民自治局 | 2 | | 36,593 | 36,593 | 36,588 | 5 | 100.0% | | |
| | 外国人受入環境整備交付金（運営事業） | 国 | 1/2 | 3,925 | 3,925 | 3,920 | 5 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 地域少子化対策重点推進交付金（結婚新生活支援事業） | 国 | 3/4 2/3 | 32,668 | 32,668 | 32,668 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| 健康福祉部 | 3 | | 43,100 | 43,100 | 43,100 | 0 | 100.0% | | |
| | 公的介護施設等整備事業（介護施設等の施設開設準備経費支援事業） | 県 | 420 千円/ 定員数 | 33,600 | 33,600 | 33,600 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 公的介護施設等整備事業（介護施設等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援事業） | 県 | 6,000 千円/ 箇所 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 公的介護施設等整備事業（既存の特別養護老人ホーム等ユニット化改修支援等支援事業） | 県 | 3,500 千円/ 施設数 | 3,500 | 3,500 | 3,500 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| 環境エネルギー部 | 5 | | 170,981 | 170,981 | 168,240 | 2,741 | 100.0% | | |
| | 循環型社会形成推進交付金（施設整備に関する計画支援事業） | 国 | 1/3 | 42,386 | 42,386 | 41,830 | 556 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 松枯れ対策事業（伐倒駆除） | 国・県 | 国1/2 県1/4 国1/2 県1/5 | 112,030 | 112,030 | 112,030 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 松枯れ対策事業（ライフライン対策：森林づくり県民税） | 県 | 9/10 | 4,896 | 4,896 | 2,720 | 2,176 | 100.0% | 補助事業の振り替えにより、内示額で事業実施 |
| | 松枯れ対策事業（景観対策：森林づくり県民税） | 県 | 9/10 | 4,509 | 4,509 | 4,500 | 9 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 市有林造成事業 | 国・県 | 7/10 | 7,160 | 7,160 | 7,160 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| 産業振興部 | 3 | | 11,983 | 11,983 | 11,970 | 13 | 100.0% | | |
| | 水利施設管理強化事業 | 国・県 | 国50% 県10% | 7,350 | 7,350 | 7,350 | 0 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 地域就職水河期世代支援加速化交付金 | 国 | 3/4 | 1,012 | 1,012 | 1,000 | 12 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| | 地域女性活躍推進交付金 | 国 | 3/4 | 3,621 | 3,621 | 3,620 | 1 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |

| 所管部 | 件数 | | 要望額 ア | 内示額 イ | 予算額 ウ | 比較 イーウ | 内示率 イ/ア | 今後の対応等 |
|------------------------------|-----|------------|----------|----------|----------|-----------|------------|---------------|
| | 事業名 | 区分 | | | | | | |
| 文化観光部 | 2 | | 85,143 | 58,026 | 5,090 | 52,936 | 68.2% | |
| 文化芸術創造拠点形成事業 | 国 | 1/2 以内 | 80,000 | 52,883 | | 52,883 | 66.1% | 9月補正で歳入歳出増額予定 |
| 学校施設環境改善交付金 (社会体育施設耐震化事業) | 国 | 1/3 | 5,143 | 5,143 | 5,090 | 53 | 100.0% | 既決予算額で事業実施 |
| 建設部 | 4 | | 27,940 | 27,850 | 24,080 | 3,770 | 99.7% | |
| 松本市公園施設長寿命化計画策定調査 | 国 | 1/2 | 17,500 | 17,500 | 15,750 | 1,750 | 100.0% | 9月補正で歳入歳出増額予定 |
| 地域住宅政策促進事業 | 国 | 45% | 1,690 | 1,600 | 1,600 | 0 | 94.7% | 内示額で事業実施 |
| 空き家対策総合支援事業 | 国 | 1/2 2/5 | 5,750 | 5,750 | 5,750 | 0 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| 盛土規制法整備事業 | 国 | 1/2 | 3,000 | 3,000 | 980 | 2,020 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| 教育委員会 | 1 | | 11,600 | 5,800 | 0 | 5,800 | 50.0% | |
| 運動部活動の地域移行等に向けた実証事業 | 国 | 10/10 | 11,600 | 5,800 | | 5,800 | 50.0% | 9月補正で歳入増額予定 |
| 合計 | 24 | | 557,644 | 519,180 | 339,508 | 179,672 | 93.1% | |

(2) 内示額が予算額を下回った事業…B

(単位：千円)

| 所管部 | 件数 | | 要望額 ア | 内示額 イ | 予算計上額 ウ | 比較 イーウ | 内示率 イ/ア | 今後の対応等 |
|------------------------------------|-----|------------------------------|----------|----------|------------|-----------|------------|------------------------|
| | 事業名 | 区分 | | | | | | |
| 住民自治局 | 1 | | 4,722 | 4,722 | 5,100 | △ 378 | 100.0% | |
| 地方消費者行政強化交付金 (消費者行政活性化事業(推進事業)) | 県 | 10/10 | 4,722 | 4,722 | 5,100 | △ 378 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| 環境エネルギー部 | 3 | | 127,474 | 56,095 | 104,560 | △ 48,465 | 44.0% | |
| ゼロカーボン推進事業 (脱炭素先行地域推進事業) | 国 | 2/3 | 125,704 | 54,665 | 102,690 | △ 48,025 | 43.5% | 既決予算額で事業実施 |
| 木質バイオマス循環利用普及促進事業 | 県 | 3/4 以内 | 900 | 600 | 900 | △ 300 | 66.7% | 内示額で事業実施 必要に応じて追加要望 |
| 野生鳥獣総合管理対策事業 | 県 | 1/2 | 870 | 830 | 970 | △ 140 | 95.4% | 内示額で事業実施 必要に応じて追加要望 |
| 産業振興部 | 3 | | 268,930 | 227,672 | 287,960 | △ 60,288 | 84.7% | |
| 経営所得安定対策等推進事業 | 国 | 10/10 | 22,189 | 22,189 | 38,030 | △ 15,841 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| 多面的機能支払交付金事業 | 国・県 | 国50% 県25% | 238,495 | 197,237 | 238,490 | △ 41,253 | 82.7% | 追加内示の見込みあり |
| 農業委員会交付金等事業 | 国 | 定額 | 8,246 | 8,246 | 11,440 | △ 3,194 | 100.0% | 追加内示の見込みあり |
| 建設部 | 2 | | 32,958 | 26,819 | 32,960 | △ 6,141 | 81.4% | |
| 住宅・建築物耐震補強促進事業 | 国・県 | 国1/1 ~1/3 県1/3・ 1/4 | 22,258 | 17,186 | 22,260 | △ 5,074 | 77.2% | 事業の進捗により追加要望 |
| 狭あい道路対策事業 | 国 | 1/2 1/3 | 10,700 | 9,633 | 10,700 | △ 1,067 | 90.0% | 事業の進捗により追加要望 |
| 教育委員会 | 5 | | 25,946 | 18,501 | 26,160 | △ 7,659 | 71.3% | |
| 令和5年度理科教育設備整備費等補助金(小学校費) | 国 | 1/2 | 3,563 | 3,563 | 3,740 | △ 177 | 100.0% | 内示額で事業実施 |

| 所管部 | 件数 | | 要望額 ア | 内示額 イ | 予算額 ウ | 比較 イーウ | 内示率 イ/ア | 今後の対応等 | |
|-----|---|-----|-------------|----------|----------|-----------|------------|--------|----------------------|
| | 事業名 | 区分 | | | | | | | 補助率 |
| | 令和5年度理科教育設備整備費等補助金(中学校費) | 国 | 1/2 | 3,368 | 3,368 | 3,510 | △ 142 | 100.0% | 内示額で事業実施 |
| | 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(学校を核とした地域力強化プラン) (こども部1件、教育委員会1件 計2件) | 国 | 1/3 | 2,775 | 2,476 | 2,670 | △ 194 | 89.2% | 内示額で事業実施 |
| | 史跡小笠原城跡整備基本計画策定事業(国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金) | 国・県 | 国50% 県3% | 3,410 | 2,640 | 3,410 | △ 770 | 77.4% | 内示額で事業実施 |
| | 埋蔵文化財発掘調査費補助金(弘法山古墳発掘調査等) | 国 | 1/2 | 12,830 | 6,454 | 12,830 | △ 6,376 | 50.3% | 内示額で事業実施 不足分は追加要望 |
| 合 計 | | | 14 | 460,030 | 333,809 | 456,740 | △ 122,931 | 72.6% | |

(3) まだ内示のない事業…C

(単位：千円)

| 所管部 | 件数 | | 要望額 ア | 内示額 イ | 予算額 ウ | 比較 イーウ | 内示率 イ/ア | 今後の対応等 |
|----------|---------------------------|-----|--------------|----------|----------|-----------|------------|---------------------------|
| | 事業名 | 区分 | | | | | | |
| 健康福祉部 | 1 | | 325 | 0 | 325 | △ 325 | 0.0% | |
| | 受動喫煙防止推進事業 | 国 | 1/2 | 325 | 325 | △ 325 | 0.0% | 内示時期未定 |
| 環境エネルギー部 | 1 | | 5,260 | 0 | 5,260 | △ 5,260 | 0.0% | |
| | 松枯れ対策事業 (ライフライン対策) | 国 | 1/2 | 5,260 | 5,260 | △ 5,260 | 0.0% | 7月内示予定 |
| 産業振興部 | 5 | | 35,530 | 0 | 35,530 | △ 35,530 | 0.0% | |
| | 新規就農者育成総合対策 (経営開始資金) | 国 | 10/10 | 19,200 | 19,200 | △ 19,200 | 0.0% | 7月内示予定 |
| | 新規就農者育成総合対策 (経営発展支援事業) | 国・県 | 3/4 | 7,500 | 7,500 | △ 7,500 | 0.0% | 内示時期未定 (7月計画書提出) |
| | 経営継承・発展等支援事業補助金 | 国 | 1/2 | 5,000 | 5,000 | △ 5,000 | 0.0% | 内示時期未定 (6月中スケジュール公表予定) |
| | 農地集積推進事業 (機構集積協力金) | 国 | 10/10 | 2,320 | 2,320 | △ 2,320 | 0.0% | 1月内示予定 |
| | 環境保全型農業直接支払交付金 | 国・県 | 国1/2 県1/4 | 1,510 | 1,510 | △ 1,510 | 0.0% | 2月内示予定 |
| 合 計 | | | 7 | 41,115 | 41,115 | △ 41,115 | 0.0% | |

(報告事項)

令和4年度市税収納状況について

1 趣旨

令和4年度一般市税及び国民健康保険税の収納状況について報告するものです。

2 市税収納状況

| 区 分 | | 一 般 市 税 | | | 国 民 健 康 保 険 税 | | |
|-------|-----------|------------|-----------|------------|---------------|-----------|-----------|
| | | 現年度分 | 滞納繰越分 | 合 計 | 現年度分 | 滞納繰越分 | 合 計 |
| 令和4年度 | 予算額(千円) | 37,163,800 | 160,000 | 37,323,800 | 4,363,350 | 215,140 | 4,578,490 |
| | 調定額(千円) | 37,527,913 | 500,785 | 38,028,698 | 4,625,162 | 1,068,130 | 5,693,292 |
| | 収納額(千円) | 37,338,194 | 182,905 | 37,521,099 | 4,348,052 | 221,435 | 4,569,487 |
| | 収納率(%) | 99.49 | 36.52 | 98.67 | 94.01 | 20.73 | 80.26 |
| 令和3年度 | 予算額(千円) | 35,467,300 | 323,000 | 35,790,300 | 4,724,200 | 198,900 | 4,923,100 |
| | 調定額(千円) | 36,143,455 | 759,618 | 36,903,073 | 5,061,581 | 1,161,704 | 6,223,285 |
| | 収納額(千円) | 35,945,079 | 354,328 | 36,299,407 | 4,758,143 | 234,081 | 4,992,224 |
| | 収納率(%) | 99.45 | 46.65 | 98.36 | 94.01 | 20.15 | 80.22 |
| 比較 | 予算額(千円) | 1,696,500 | △ 163,000 | 1,533,500 | △ 360,850 | 16,240 | △ 344,610 |
| | 調定額(千円) | 1,384,458 | △ 258,833 | 1,125,625 | △ 436,419 | △ 93,574 | △ 529,993 |
| | 収納額(千円) | 1,393,115 | △ 171,423 | 1,221,692 | △ 410,091 | △ 12,646 | △ 422,737 |
| | 収納率(ポイント) | 0.04 | △ 10.13 | 0.31 | 0.00 | 0.58 | 0.04 |

(1) 一般市税

ア 現年度分収納率は99.49%で、前年度比0.04ポイント増となりました。滞納繰越分収納率は36.52%で、前年度比10.13ポイント減となりました。これは、R2年度コロナで徴収猶予した税が、R3年度に納付されたため、R3年度が一時的に高かったことによるものです。なお、合計では98.67%で、前年度比0.31ポイント増となり、平成22年度から13年連続で前年度を上回る結果となりました。

イ 収納額は、現年度分13億9,311万5千円の増、滞納繰越分1億7,142万3千円の減、合計で12億2,169万2千円の増となりました。

(2) 国民健康保険税

ア 現年度分収納率は、前年度と同率の94.01%となりました。また、滞納繰越分の収納率20.73%は、前年度比0.58ポイント増となり、平成2年度以降で最も高い値となりました。合計では、前年度比0.04ポイント増となっています。

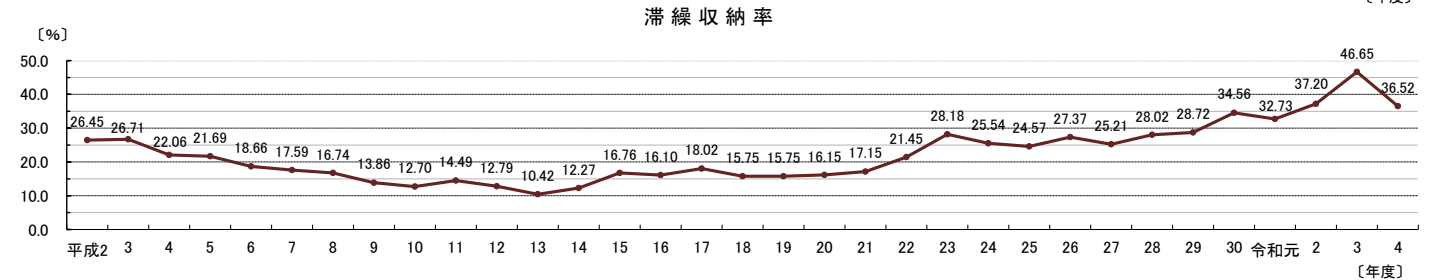
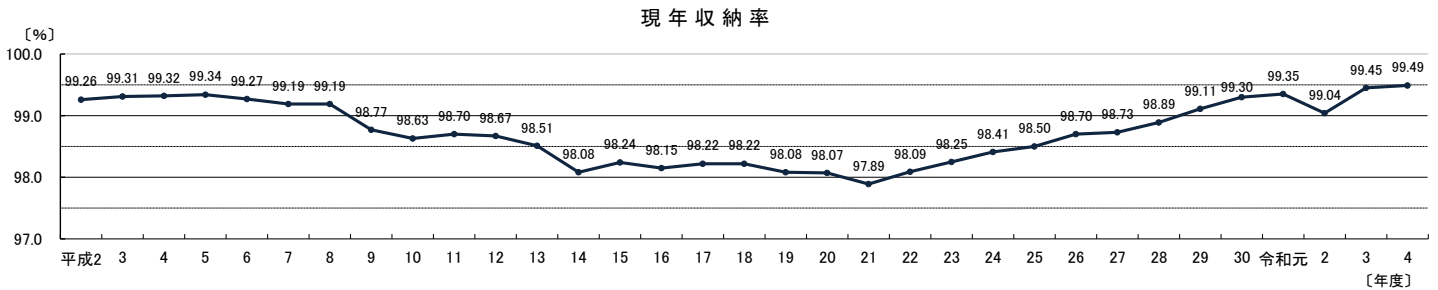
イ 収納額は、現年度分4億1,009万1千円の減、滞納繰越分1,264万6千円の減、合計では4億2,273万7千円の減となりました。減収の主な原因としては、現年度分は税率改定(引下げ)や加入世帯の減少等の影響によるもの、滞納繰越分については、滞納整理が進んだことにより、調定額が減少したものです。

| | |
|-----|------------------------|
| 担 当 | |
| 納税課 | 課長 小池 栄一 (内線1370) |
| 保険課 | 保険税担当課長 萩原 崇嘉 (内線1580) |

一般市税収納率の推移（現年・滞繰）

〔単位：％〕

| 年度 | 平成2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 29年 | 30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 現年収納率 | 99.26 | 99.31 | 99.32 | 99.34 | 99.27 | 99.19 | 99.19 | 98.77 | 98.63 | 98.70 | 98.67 | 98.51 | 98.08 | 98.24 | 98.15 | 98.22 | 98.22 | 98.08 | 98.07 | 97.89 | 98.09 | 98.25 | 98.41 | 98.50 | 98.70 | 98.73 | 98.89 | 99.11 | 99.30 | 99.35 | 99.04 | 99.45 | 99.49 |
| 滞繰収納率 | 26.45 | 26.71 | 22.06 | 21.69 | 18.66 | 17.59 | 16.74 | 13.86 | 12.70 | 14.49 | 12.79 | 10.42 | 12.27 | 16.76 | 16.10 | 18.02 | 15.75 | 15.75 | 16.15 | 17.15 | 21.45 | 28.18 | 25.54 | 24.57 | 27.37 | 25.21 | 28.02 | 28.72 | 34.56 | 32.73 | 37.20 | 46.65 | 36.52 |



国民健康保険税収納率の推移（現年・滞繰）

〔単位：％〕

| 年度 | 平成2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 29年 | 30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 現年収納率 | 95.88 | 95.97 | 96.04 | 95.84 | 95.62 | 95.70 | 95.62 | 95.05 | 94.43 | 94.04 | 93.48 | 93.10 | 92.45 | 92.69 | 91.93 | 92.23 | 92.24 | 92.31 | 89.89 | 88.72 | 89.76 | 90.46 | 90.59 | 90.45 | 90.27 | 90.87 | 91.69 | 92.18 | 92.93 | 92.63 | 93.81 | 94.01 | 94.01 |
| 滞繰収納率 | 20.68 | 18.76 | 15.20 | 12.44 | 13.66 | 15.23 | 16.06 | 15.18 | 14.02 | 11.43 | 9.92 | 10.59 | 9.26 | 9.91 | 12.98 | 15.38 | 11.55 | 11.56 | 10.81 | 10.46 | 11.37 | 14.03 | 16.93 | 16.57 | 14.56 | 14.64 | 15.53 | 15.99 | 16.34 | 15.80 | 19.23 | 20.15 | 20.73 |

※ 12年度から介護保険制度発足

※ 20年度から後期高齢者医療制度発足

